

消防年報

令和7年版



佐賀広域消防局

ま え が き

佐賀広域消防局では、住民の生命、身体及び財産を守り、住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるため、消防団はもとより、関係市町や関係機関との緊密な連携の強化を図っています。

また、複雑多様化する災害に的確かつ効率的に対応できる消防体制の検討や職員の資質向上、消防施設、車両などの整備を図り、消防業務を進めています。

この消防年報は、住民の方や消防関係者をはじめ、多くの方々に佐賀広域消防局の現勢と消防に関する各種資料を紹介することを目的として編集しています。より多くの方々にご活用いただければ幸いに存じます。

消防年報資料は原則として暦年で記載し、これによらないものについてはそれぞれの年月日及び期間にて作成いたしました。

令和7年7月
佐賀広域消防局

※管内合併の状況

- ・平成12年4月1日：佐賀市消防本部、多久市消防本部、佐賀郡消防事務組合消防本部及び小城地区消防事務組合消防本部が合併
- ・平成25年4月1日：佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部が合併

2025年度 全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

2025年度 危険物安全週間推進標語

危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る

令和7年版消防年報もくじ

概 要

○ 消防局の管内一目統計	3
○ 地勢、気象	4
○ 位置図	5
○ 構成市町の紹介	6
○ 佐賀広域消防局管内の人口等推移	8
○ 消防庁舎の現況	9
○ 消防車両一覧表	14
○ 佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要	15
○ 各種協定の状況	17

総 務

I 組織	21
○ 佐賀中部広域連合機構	
○ 佐賀広域消防局組織図	
II 財政	23
○ 消防費当初予算、令和7年度消防費予算に対する住民の負担状況	
III 人事	24
○ 職員配置状況	
○ 年齢別職員数	
○ 勤続年数別職員数	
○ 職員の特殊技能・資格取得状況	
IV 消防音楽隊	30
○ 消防音楽隊	
V 消防団	31
○ 消防団の概要、消防団現勢	
○ 年齢別消防団員数	
○ 消防団組織図	

予 防

I 防火対象物	39
○ 建築物申請処理状況	
○ 用途別防火対象物使用開始届出状況	
○ 防火対象物数	
○ 中高層建築物（4階以上）	
II 危険物施設	43
○ 数量別危険物施設数、危険物施設数	
III 防火クラブ	44
○ 幼少年女性防火委員会、幼年・少年消防クラブ、女性防火クラブ	

警 防	
-----	--

I 警防	47
○ 緊急消防援助隊の紹介	
○ 消防水利の状況	
II 救急	51
○ 応急手当普及啓発活動実施状況	
○ 救マーク制度、救急資器材保有状況	
III 救助	54
○ 救助資機材保有状況	
○ 国際消防救助隊の紹介	

通 信	
-----	--

I 通信	61
○ 指令管制業務の概要	
○ 指令管制システムの構成図	
○ デジタル無線設備システム系統図	
○ 無線局の配置状況	

統計（災害出動状況）	
------------	--

I 火災	67
○ 火災の種別、令和6年中の火災概要	
○ 火災発生状況	
○ 月別用途別火災発生状況	
○ 月別原因別火災発生状況	
○ 過去3年間の火災発生状況	
○ 過去3年間の火災原因	
II 救急	73
○ 救急事故の種別、令和6年中の救急出動概要	
○ 事故種別救急出場件数・搬送人員	
○ 月別救急出場件数・搬送人員	
○ 年齢別搬送人員	
○ 曜日別救急出場件数	
○ 過去3年間の救急出場件数	
III 救助	79
○ 救助事故の種別、令和6年中の救助出動概要	
○ 市町別事故種別救助出動件数・救助人員	
○ 過去3年間の事故種別救助出場件数	
IV 警戒	82
○ 警戒出動の種別、令和6年中の警戒出動概要、事故種別警戒出動状況	
V 通信	83
○ 119番受信状況	

○概要



消防局の管内一目統計

令和7年4月1日現在（火災・救急・救助・通信は令和6年中）

面積・人口・世帯	面 積	人 口	人口密度	世 帯 数
	793.30 k m ² 佐賀市 431.81 k m ² 多久市 96.56 k m ² 小城市 95.81 k m ² 神崎市 125.13 k m ² 吉野ヶ里町 43.99 k m ²	332,181人 佐賀市 225,700 人 多久市 17,486 人 小城市 42,879 人 神崎市 30,052 人 吉野ヶ里町 16,064 人	419人／k m ²	149,806世帯 佐賀市 104,772 世帯 多久市 7,910 世帯 小城市 17,720 世帯 神崎市 12,529 世帯 吉野ヶ里町 6,875 世帯
予算・機構・人事	消防予算	局・署・所	職 員 数	消防団員数
	55億3997万円 住民1人当り 16,678円 1世帯当り 36,981円	消 防 局 1 消 防 署 6 分 署 3 出 張 所 5	定数 450 人 実員 426 人 (定数外職員32人除く)	定員 6,269 人 実員 5,353 人 (内女性団員147人)
機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救 急 車	水 利
	ポ ン プ 車 16台 (救助ポンプ車4台含む) タ ン ク 車 10台	は し ご 車 3台 救助工作車 3台 化 学 車 3台 災害支援車 2台 水難救助車 1台	高規格救急車 20台 (非常用救急自動車含む)	消火栓 4,564基 防火水槽 1,035基
火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	救急事故種別
	90件 4.1日に1件の割合で発生	① 火入れ 14件 ② 電灯・電話配線 7件 ② こんろ 7件 ④ たき火 5件	18,692件 1日あたり51.2件の割合で発生	① 急病 11,207件 ② 転院搬送 2,423件 ③ 一般負傷 2,327件 ④ 交通事故 1,350件
救助・通信	救助件数	救助事故種別	119番受信件数	災害別119番受信状況
	382件 1日に1.0件の割合で発生	① その他の事故 185件 ② 交通事故 101件 ③ 建物等による事故 59件 ④ 水難事故 21件	30,211件 1日当り82.8件 (問合わせ、試験等含む)	火災 168 件 救急 16,276 件 救助 234 件 警戒 1,867 件
予 防	防火対象物	中高層建築物（4階以上）	危険物施設	市民防火
	消防用設備設置対象 14,008件	4階～9階 987 件 10階以上 115 件	製造所 9 件 貯蔵所 662 件 取扱所 340 件	幼年消防クラブ 74クラブ 4,025 人 少年消防クラブ 3クラブ 171 人 女性防火クラブ 1クラブ 7 人

地 勢

佐賀広域消防局管内は九州北西部に位置する佐賀県の中央部にあり、北は脊振山地から南は有明海に達します。

佐賀地方で前海(まえうみ)と呼ばれる有明海は、およそ8万年前の阿蘇山の大噴火によって九州全体に積もった土砂が風化して粘土質の泥に変わり、この泥が川によって海へ運ばれ、大きな干満に伴う潮位変動により堆積したことで広大な干潟となったといわれています。

この海は多くの河川が流れ込むことから栄養分が多く、全国有数のノリ養殖漁場となっているほか、秋には紅葉を見せる塩生植物のシチメンソウやムツゴロウなどといった国内では他に見られないめずらしい生物が約15種類も生息しています。

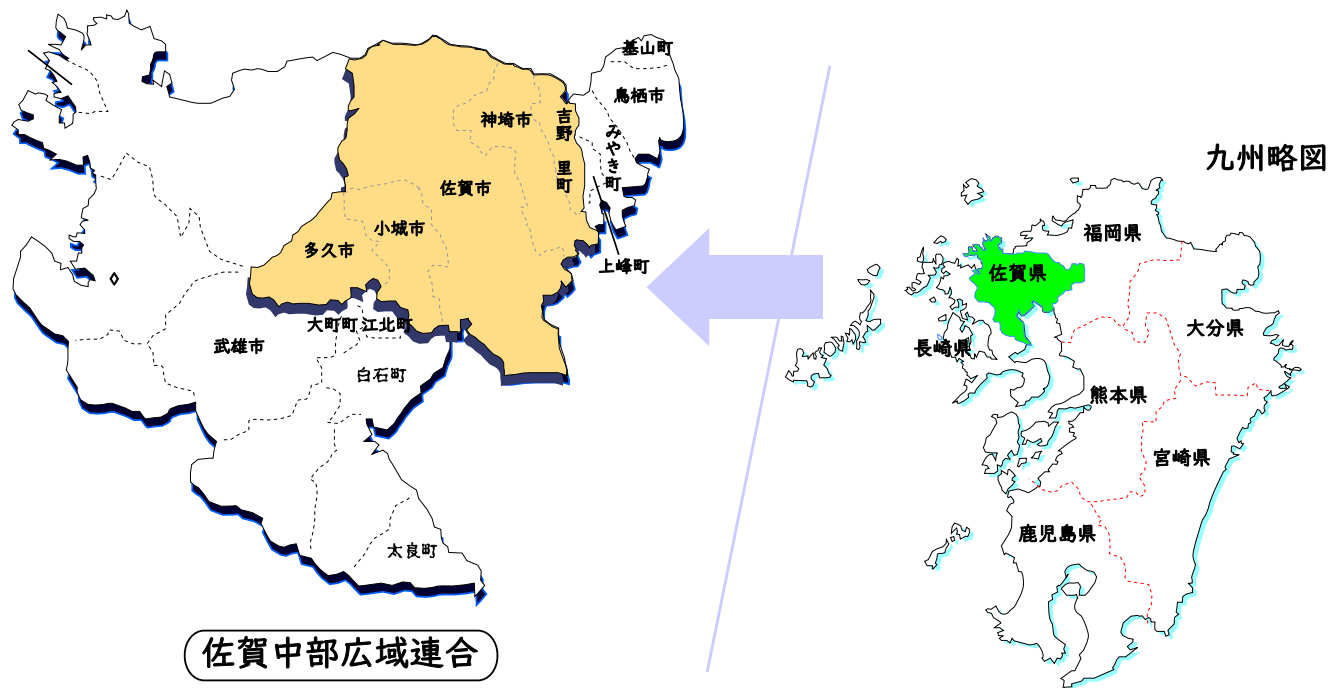
当消防局は、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町の4市1町で構成されており、その管内面積793.3km²のうち、北部の山間部が約41%、西部の盆地が約11%で、それらを除くほとんどの土地は平坦な平野となっています。宅地・道路などの都市的利用以外は農地などの自然的利用とされていることから、春から夏にかけては緑のじゅうたんを敷き詰めたような田畑の景色を見ることができます。

また、管内を流れる主要河川である嘉瀬川をはじめ、平野部では河川、クリーク、水路が発達しており、農業用水としてのみならず火災時における消防用水としての役割も果たすなど、住民に多くの恩恵を与えています。

気 象

令和6年中の最高気温は8月で38.3度、最低気温は1月で-2度を記録しました。近年では大雨や最多猛暑日の更新など異常気象となることがあります。

位置図



佐賀広域消防局管内図

構成市町の紹介

佐賀市

SagaCity



市の木
いちよう

市の花
さくら



佐賀インターナショナル
バルーンフェスタ

人口：225,700人
面積：431.81km²

佐賀市は、長崎街道沿いに往時の面影を残す歴史ある城下町であり、北部の森林と佐賀平野の緑、南には豊穡の有明海をのぞむ自然豊かな町でもあります。また、インターナショナルバルーンフェスタをはじめとするイベントや、温泉、個性的な動植物が生息する干潟など、多彩な魅力がいっぱいです。

平成27年7月には、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られた「三重津海軍所跡」が、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして、世界文化遺産に登録されました。



有明海



三重津海軍所跡の木製護岸

多久市

TakuCity



市の木
かえで

市の花
うめ



多久聖廟（国重要文化財）

人口：17,486人
面積：96.56km²

「朋有り 遠方より来る 亦楽しからずや……」緑豊かな文教の地、多久市は、日本三大孔子廟の一つ多久聖廟をもつ孔子の里として、東原庫舎（藩校を復元した研修施設）、四季を楽しめる西溪公園や武家屋敷など歴史と文化の香りが漂うまちです。



西溪公園

小城市

OgiCity



市の木
さくら

市の花
さくら



江里山棚田の彼岸花

人口：42,879人
面積：95.81km²

小城市は、北には秀峰天山、南には宝の海有明海を有しています。春には満開の桜、夏には蛍の乱舞、秋には棚田の彼岸花、冬には味なる有明海の幸など、1年を通じて見どころが満載です。



小城公園の桜

構成市町の紹介

神崎市

KanzakiCity



市の木
もみじ

市の花
さくら



国の名勝 九年庵

人口：30,052人
面積：125.13km²

神崎は古代から常に人の往来と定住があった所で、弥生時代には巨大環濠集落、奈良時代には神崎郡衙、中世には平家の基礎財力がこの地で蓄えられました。

江戸時代、長崎街道神崎宿には本陣、脇本陣が備えられ東肥前の経済の中心を成していきました。

脊振山頂からの標高差のある風景は観光素材となり、特に九年庵は九州の紅葉の名所として知られています。



神崎市マスコットキャラクター
くねんワン・くねんニャン

吉野ヶ里町

YoshinogariTown



町の木
さざんか

町の花
さくら



吉野ヶ里歴史公園

人口：16,064人
面積：43.99km²

吉野ヶ里町は、日本茶樹栽培発祥の地と伝えられる霊仙寺跡や日本最大級の環濠集落跡吉野ヶ里遺跡のある歴史浪漫のあふれる町です。

また、サザンカ自生北限地（国天然記念物）であり、脊振山の緑豊かな自然と佐賀平野の雄大な田園地帯が見せる四季折々の景色は多くの観光客を魅了しています。

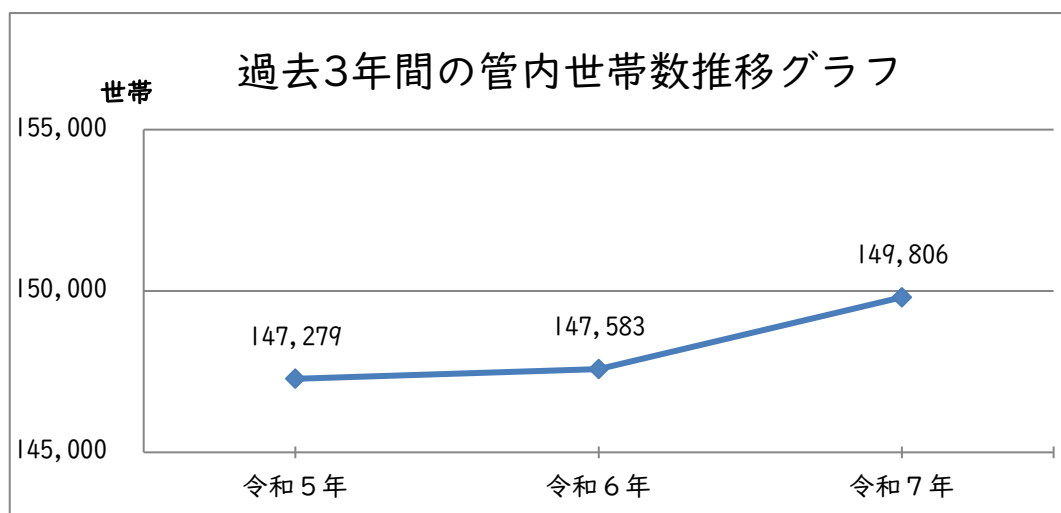
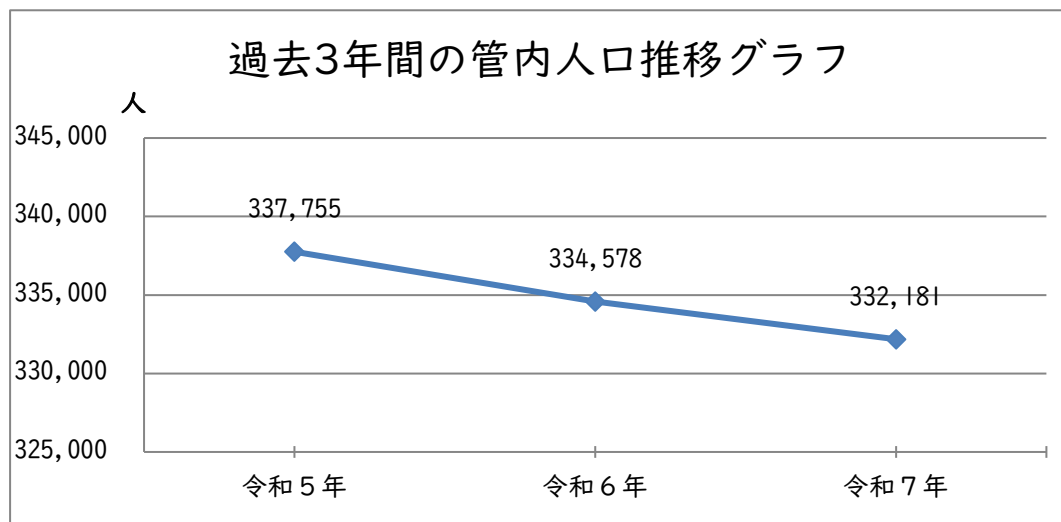


霊仙寺跡から望む茶畑の景色

佐賀広域消防局管内の人口等推移

令和7年4月1日現在

令和7年					
市	人口(人)	世帯	面積(k㎡)	人口比率	面積比率
佐賀市	225,700	104,772	431.81	67.94%	54.43%
多久市	17,486	7,910	96.56	5.26%	12.17%
小城市	42,879	17,720	95.81	12.91%	12.08%
神埼市	30,052	12,529	125.13	9.05%	15.77%
吉野ヶ里町	16,064	6,875	43.99	4.84%	5.55%
合 計	332,181	149,806	793.30	100.0%	100.0%



消防庁舎の現況

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
消 防 局	庁 舎	鉄筋コン クリート造 一部鉄骨造 地上4階	11,817.12㎡	6,961.58㎡ 1F 2,167.15㎡ 2F 1,999.39㎡ 3F 1,617.54㎡ 4F 1,135.46㎡ PH 42.04㎡	R3.1	   
				229.30㎡		
				106.33㎡		
				401.96㎡		
				254.36㎡		
	署	その他	4棟	51.25㎡	R3.1 R3.3 R4.3	
西 分 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	1,315.78㎡	540.65㎡ 1F 359.15㎡ 2F 181.50㎡	S58.3	
	その他	1棟		9.28㎡		
東 分 署	庁 舎	鉄骨造 2階建	1,827.57㎡	503.81㎡ 1F 361.20㎡ 2F 142.61㎡	H18.3	
	その他	1棟		10.35㎡		

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
多 久 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,676.51㎡	1,006.34㎡ 1F 550.23㎡ 2F 456.11㎡	H6.3	  
	車庫	鉄骨造 2階建		450.90㎡	H6.3	
	A訓練塔	鉄筋コン クリート造 5階建		174.00㎡	H6.3	
	B訓練塔	鉄筋コン クリート造 2階建		80.00㎡	H6.3	
	その他	2棟		73.40㎡	H6.3	
多 久 南 西 出 張 所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,452.06㎡	393.14㎡	R2.6	
	その他	1棟		4.41㎡	R2.9	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
南 部 消 防 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,624.89㎡	1,678.17㎡ 1F 1,085.37㎡ 2F 592.80㎡	H28.2	 
	訓 練 塔	鉄骨造 5階建		178.93㎡	S61.12	
	補 助 塔	鉄骨造 平屋建		19.11㎡	S61.12	
	そ の 他	1棟		8.82㎡	H28.2	
久 保 田 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 2階建	762.80㎡	349.16㎡ 1F 244.24㎡ 2F 104.92㎡	H20.12	
	そ の 他	1棟		3.24㎡	H20.12	
北 部 消 防 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,129.84㎡	1,786.26㎡ 1F 1,390.64㎡ 2F 395.62㎡	H25.8	 
	訓 練 塔	鉄骨造 2階建		36.00㎡	H25.8	
	そ の 他	1棟		8.24㎡	H25.8	
富 士 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,075.20㎡	329.67㎡	H17.8	
	そ の 他	1棟		11.96㎡	H17.8	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
小 城 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	7,035.67㎡	1,558.49㎡ 1F 996.89㎡ 2F 561.60㎡	H26.7	  
	訓練塔1	鉄骨造 2階建		82.76㎡	H27.3	
	訓練塔2	鉄骨造 2階建		71.74㎡	H27.3	
	訓練塔3	鉄骨造 2階建		27.50㎡	H27.3	
	補助訓練塔	鉄骨造 2階建		16.00㎡	H22.3	
	車庫	鉄骨 スレート造 平屋建		253.20㎡	H5.2	
	車庫	軽量鉄骨造 平屋建		48.95㎡	H23.3	
	その他	2棟		26.24㎡	H6.2 H26.8	
北 分 署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,508.96㎡	569.15㎡ 1F 426.59㎡ 2F 142.56㎡	H16.3	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
神 埼 消 防 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,370.30㎡	2,197.60㎡ 1F 1,441.57㎡ 2F 756.03㎡	H8.3	 
	A 訓 練 塔	鉄筋造 5階建		159.19㎡	H8.3	
	B 訓 練 塔	鉄筋造 2階建		81.43㎡	H8.3	
三 脊 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,801.59㎡	385.86㎡	H30.3	
	そ の 他	1棟		4.41㎡	H30.3	
吉 野 ヶ 里 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,390.41㎡	359.65㎡	H27.1	

消防車両一覧表

令和7年4月1日現在

種 別 所 属 別		ポ ン プ 車	救 助 ポ ン プ 車	タ ン ク 車	化 学 車	は し ご 車	救 助 工 作 車	水 難 救 助 車	高 規 格 救 急 車	指 揮 隊 車	災 害 支 援 車	機 動 連 絡 車	査 察 車	指 令 車	資 材 搬 送 車	林 野 火 災 工 作 車	連 絡 車 （ 普 ）	連 絡 車 （ 軽 ）	人 員 輸 送 車	燃 料 補 給 車	特 殊 車 両	合 計
局	総 務 課																2	1	1			4
	警 防 課									1		1						1	1			4
	予 防 課												1					1		1		3
	小 計									1		1	1				2	3	2	1		11
佐賀消防署	署	2		2		2	2		4	1			1		1			3	1		2	21
	西 分 署	1		1					1									1				4
	東 分 署	1		1					1									1				4
	小 計	4		4		2	2		6	1			1		1			5	1		2	29
多久消防署	署	1		2		1			1					1	1		1		1			9
	南西出張所		1						1									1				3
	小 計	1	1	2		1			2					1	1		1	1	1			12
南部消防署	署	1	1		1				1		1			1	1			1	1			9
	久保田出張所	1							1									1				3
	小 計	2	1		1				2		1			1	1			2	1			12
北部消防署	署		1	1	1			1	2					1	1			1	1			10
	富士出張所	1							1									1				3
	小 計	1	1	1	1			1	3					1	1			2	1			13
小城消防署	署	1		1			1		2		1			1	1			1	1			10
	北 分 署	1		1					1									1				4
	小 計	2		2			1		3		1			1	1			2	1			14
神埼消防署	署	1	1		1				2					1	1	1	1		1		1	11
	三脊出張所	1							1									1				3
	吉野ヶ里出張所			1					1									1				3
	小 計	2	1	1	1				4					1	1	1	1	2	1		1	17
合 計		12	4	10	3	3	3	1	20	2	2	1	2	5	6	1	4	17	8	1	3	108

※ 特殊車両：「水陸両用バギー」及び「重機」を示す。



重機



重機搬送車



消防ポンプ自動車C D－I 型

佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

昭和23年 5月	佐賀市消防本部を設置
昭和38年 11月	多久市消防本部を設置
昭和44年 11月	神埼地区消防事務組合消防本部を設置
昭和46年 11月	小城地区消防事務組合消防本部を設置
昭和49年 3月	佐賀郡消防事務組合消防本部を設置
平成12年 4月	佐賀地区広域市町村圏組合佐賀広域消防局を発足 職員定数を343人とする 消防局に総務課、予防課、消防課、通信指令課を置く 5署1分署5出張所（旧消防本部の署所を引継ぐ）を置く 通信指令装置の運用開始
平成15年 3月	佐賀地区広域市町村圏組合を解散
平成15年 4月	佐賀中部広域連合佐賀広域消防局を発足
平成16年 3月	小城消防署北分署を新設 5署2分署5出張所となる
平成17年 8月	北部消防署富士出張所を新築移転
平成18年 3月	佐賀消防署東出張所と南部消防署諸富出張所を統合し、佐賀消防署東分署を新設 5署3分署3出張所となる
4月	総務省消防庁から高度救助隊設置の指定を受ける
5月	佐賀中部広域連合職員定数条例を改正、団塊世代の大量退職に伴い、前倒し採用 による対応を図る（定数外処理）
平成19年 4月	女性消防吏員を初採用
平成20年 4月	再任用制度を導入（5人再任用）
12月	南部消防署久保田出張所を改築
平成21年 1月	佐賀消防署に高度救助隊を置き、高度救助資機材を配置
4月	北部消防署に水難救助隊を置き、水難救助車を配置 小城消防署に特別救助隊を置き、救助資機材を配置
平成22年 4月	総務省消防庁の国際消防救助隊員に登録される（6名） 位置情報通知システム統合型の運用開始
平成23年 4月	消防救急通信指令システムを部分更新し、運用開始
平成24年 1月	佐賀中部広域連合内常備消防広域化基本合意書調印式を実施
平成24年 1月	佐賀県知事から佐賀中部広域連合佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部 の合併が許可される
平成25年 3月	神埼地区消防事務組合を解散
4月	神埼地区消防事務組合消防本部と合併 6署3分署4出張所となる 職員定数を425名とする

佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

平成25年	8月	北部消防署を新築移転
平成26年	4月	消防救急デジタル無線の運用開始
	7月	小城消防署を改築
平成27年	2月	神埼消防署吉野ヶ里出張所を新設 6署3分署5出張所となる
平成28年	2月	南部消防署を改築
平成30年	3月	神埼消防署三脊出張所を新築移転
令和 2年	10月	多久消防署多久南西出張所を新設 6署3分署6出張所となる
令和 3年	2月	佐賀広域消防局・佐賀消防署を新築し、新佐賀広域消防局・佐賀消防署を運用開始
	4月	組織機構の改編に伴い、消防局「消防課」を「警防課」に、消防局「通信指令課」を「情報指令課」に、各消防署「警防1課及び警防2課」を「消防1課及び消防2課」に改める
		高機能消防指令センターの運用開始
	5月	佐賀消防署に防災学習広場を設置し、運用開始
	10月	救急出動体制強化等を図るため、佐賀消防署中央出張所の機能を佐賀消防署に移転統合し、中央出張所を廃止 6署3分署5出張所となる
令和 6年	4月	定年引き上げに伴い、職員定数を450人とする
		組織機構の改編に伴い、佐賀消防署「救急課」を「救急1課及び救急2課」に、佐賀消防署を除く各消防署「庶務1課及び庶務2課」と「予防指導1課及び予防指導2課」を統合し、「消防1課及び消防2課」に改める
令和 7年	4月	組織機構の改編に伴い、佐賀消防署を除く消防署に「庶務係」、「救急係」を設置する

各種協定の状況

[相互応援関係]

令和 7 年 4 月 1 日現在

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
糸島市との隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	糸島市	平成 25 年 4 月 1 日
久留米広域市町村圏事務組合との隣接常備 消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	久留米広域市町村圏事務組合	平成 25 年 4 月 1 日
佐賀県常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	佐賀県下の消防本部 (5 本部)	平成 26 年 7 月 2 日
福岡佐賀県境隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	筑紫野大宰府消防組合	平成 25 年 9 月 1 日
	鳥栖・三養基地区消防事務組合	
	春日・大野城・那珂川消防組合	
福岡市との常備消防相互応援協定 (東脊振) (火災・救急・救助・その他災害)	福岡市消防局	平成 2 年 4 月 1 日
福岡市との常備消防相互応援協定 (三瀬) (火災・救急・救助・その他災害)		昭和 61 年 7 月 24 日

[高速道路関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
長崎自動車道にかかる消防業務に関する 覚書	鳥栖・三養基地区消防事務組合	平成 21 年 4 月 1 日
高速自動車道における消防の相互応援に 関する協定	佐世保市	平成 12 年 4 月 1 日
	県央地域広域市町村圏組合	
	杵藤地区広域市町村圏組合	

[空港関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
佐賀空港周辺航空機災害消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合	平成 20 年 1 月 1 日
	柳川市	
佐賀空港及びその周辺における消火救難 活動に関する協定	佐賀空港事務所	平成 20 年 1 月 1 日

[無線関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
防災行政無線遠隔制御装置の運用に関する 協定等	佐賀市 (諸富町・大和町・富士町・ 川副町・東与賀町・久保田町) 小城市	平成 12 年 4 月 1 日
	多久市	平成 22 年 2 月 1 日
	神埼市・吉野ヶ里町	平成 25 年 4 月 1 日
佐賀県防災、行政衛星無線設備の管理及び 運用に関する委託協定	佐賀県	平成 12 年 4 月 1 日

[その他]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
他の都道府県若しくは他の都道府県に属する市の 消防防災ヘリコプターによる支援を受けた場合又は 同ヘリコプターとの合同訓練を行った場合の経費の 負担に関する協定	佐賀県	平成 25 年 2 月 20 日
災害弱者緊急通報システムに関する覚書	佐賀市	平成 20 年 4 月 1 日
	多久市	平成 12 年 4 月 1 日
	神埼市	平成 31 年 4 月 1 日
緊急消防援助隊佐賀県大隊の応援出動に おける食料等の供給に関する協定	佐賀県生活協同組合連合会	平成 28 年 10 月 28 日
災害時における消防用水等の供給支援に 関する協定	佐賀県生コンクリート工業組合	平成 29 年 12 月 26 日
緊急時の道路維持管理資材の使用に係る 協定	佐賀市、多久市、小城市、神埼市	令和 2 年 3 月 10 日
	吉野ヶ里町	令和 2 年 3 月 16 日
佐賀県消防防災ヘリコプター支援に係る協定	佐賀県	令和 3 年 3 月 22 日

※平成12年4月1日佐賀広域消防局再編に伴い、全面的に再協定を行う。

また、合併等で名称が変わったものについては、事務承継の観点から変更後の名称とする。

○ 総務



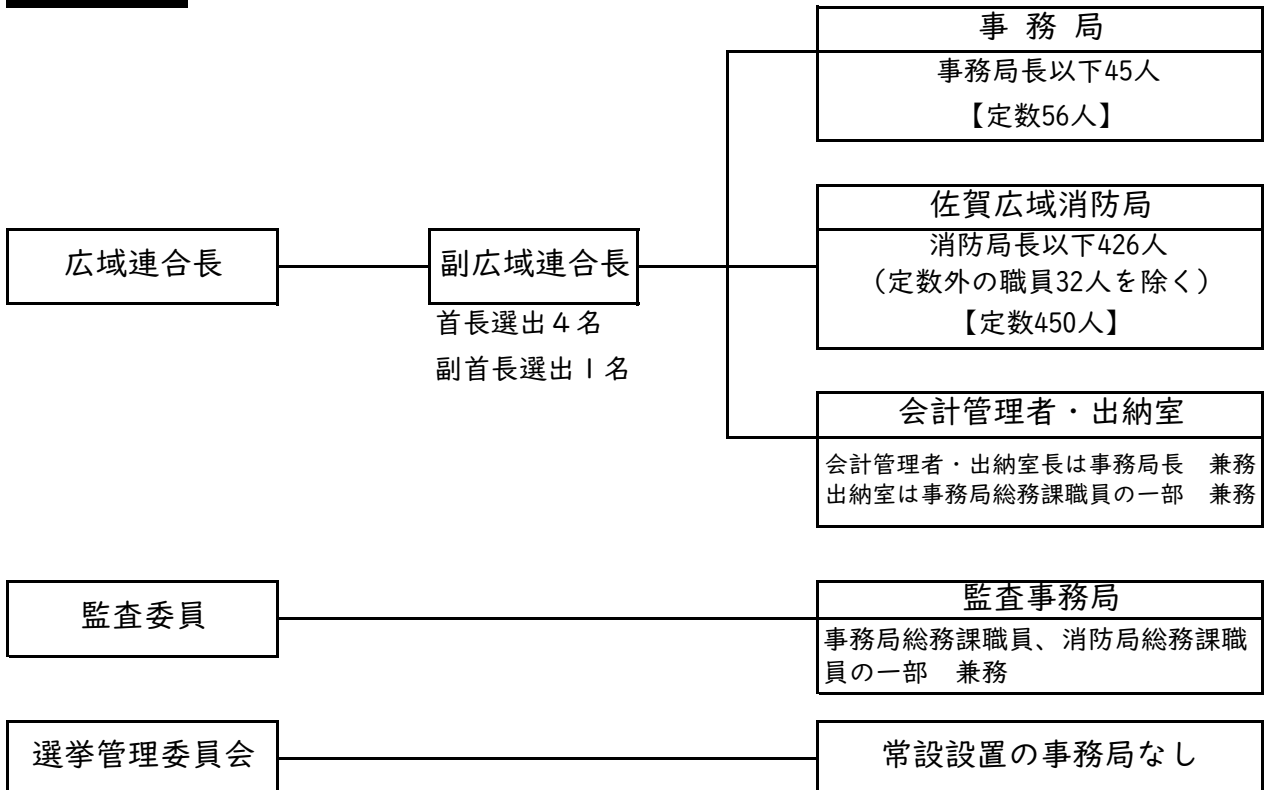
佐賀中部広域連合機構

令和7年6月1日現在

議 会



執行機関

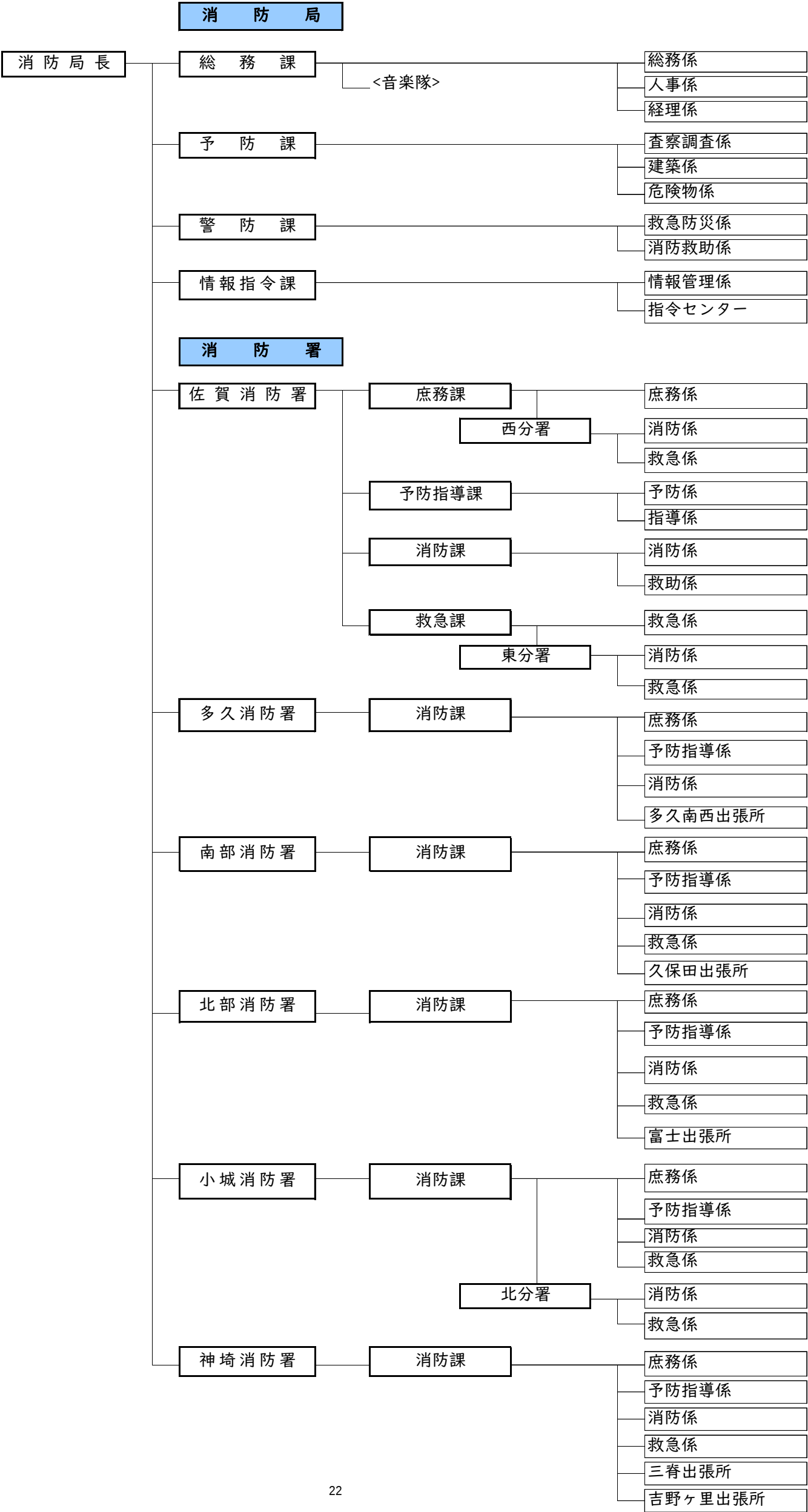


役 職

広域連合長	坂 井 英 隆	佐 賀 市 長	議 長	重 松 徹	佐 賀 市
副広域連合長	横 尾 俊 彦	多 久 市 長	副議長	白 石 昌 利	神 埼 市
	南 里 隆	小 城 市 長			
	實 松 尊 徳	神 埼 市 長	監査委員	力 久 剛	識 見
	伊 東 健 吾	吉野ヶ里町長			
	池 田 一 善	佐賀市副市長			
				坂 口 絹 代	議選(多久市)

佐賀広域消防局組織図

令和7年4月1日現在



消防費当初予算

(単位：千円)

歳 入	令和7年度		令和6年度		前年度比
	予 算	割 合	予 算	割 合	
分担金及び負担金	5,077,056	91.64%	5,008,676	95.21%	1.36 %
使用料及び手数料	4,632	0.08%	4,622	0.09%	0.21 %
県 支 出 金	0	0.00%	3,664	0.07%	- %
財 産 収 入	460	0.01%	460	0.01%	0.00 %
繰 入 金	28,000	0.51%	38,000	0.72%	△ 26.31 %
繰 越 金	10	0.00%	10	0.00%	0.00 %
諸 収 入	76,113	1.37%	67,070	1.27%	13.48 %
広 域 連 合 債	353,700	6.38%	138,300	2.63%	155.74 %
合 計	5,539,971	100.00%	5,260,802	100.00%	5.30 %

(△は減)

(単位：千円)

歳 出	令和7年度		令和6年度		前年度比
	予 算	割 合	予 算	割 合	
常 備 消 防 費	4,556,955	82.26%	4,435,182	84.31%	2.74 %
消 防 施 設 費	506,093	9.14%	292,302	5.56%	73.14 %
公 債 費	456,923	8.25%	513,318	9.76%	△ 10.98 %
予 備 費	20,000	0.36%	20,000	0.38%	0.00 %
合 計	5,539,971	100.00%	5,260,802	100.00%	5.30 %

令和7年度消防費予算に対する住民の負担状況

令和7年4月1日現在

予 算 (円)	人 口 (人)	世 帯 (世帯)	1人当り額 (円)	1世帯当り額 (円)
5,539,971,000	332,181	149,806	16,678	36,981

職員配置状況

令和7年4月1日現在

階 級 配 置		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	事 務 吏 員	再 任 用	計
消 防 局	消 防 局 長	1										1
	※1 副 局 長		2									2
	総 務 課			1								1
	総 務 係				1	1	1			2		5
	経 理 係				1	1	1			1		4
	人 事 係				1	1	3	1				6
	総務課付（定数内）											0
	※2 総務課付（定数外）				1	2	3		16		1	23
	予 防 課		1	1								2
	査 察 調 査 係				1	1		1				3
	建 築 係				1	1	1					3
	危 険 物 係				1		2					3
	警 防 課			2								2
	消 防 救 助 係				1	1	1					3
	救 急 防 災 係				1	2					1	4
	※3 警防課付（定数外）				1	3	1					5
	情 報 指 令 課		1	1								2
	情 報 管 理 係				1	1						2
	指令センター（第1）				2	2	2				1	7
	指令センター（第2）				2	2	2				1	7
	指令センター（第3）				2	2	2				1	7
小 計		1	4	5	17	20	19	2	16	3	5	92
佐 賀 消 防 署	署 長											0
	副 署 長			1								1
	庶 務 課 長（1・2）			2						1		3
	副 課 長（1・2）				4							4
	1 課 庶 務 係					2		1				3
	2 課 庶 務 係					1		2				3
	1課西分署消防係					1	2	1	1			5
	2課西分署消防係					1	2	1	1			5
	1課西分署救急係					1	2		1			4
	2課西分署救急係					1	1	1	1			4
	予 防 指 導 課 長			1								1
	副 課 長				2							2
	予 防 係					1	1					2
	指 導 係					1		1				2
	消 防 課 長（1・2）			2								2
	副 課 長（1・2）				4							4
	1 課 消 防 係					2	3	2	2			9
	2 課 消 防 係					2	3	3	1			9
	1 課 救 助 係					2	4	2				8
	2 課 救 助 係					2	4	2				8
	救 急 課 長（1・2）			2								2
	副 課 長（1・2）				4							4
	1 課 救 急 係					2	2	2	2			8
	2 課 救 急 係					2	2	2	2			8
	1課東分署消防係					1	2		2			5
	2課東分署消防係					2		2	1			5
	1課東分署救急係					1	1	2				4
	2課東分署救急係					1	2	1				4
小 計		0	0	8	14	26	31	25	14	1	0	119

※1 副局長は、総務課長及び佐賀消防署長が兼務

※2 総務課付（定数外）内訳：・消防庁（士長1人）・佐賀県消防学校（司令補1人、士長1人）

・佐賀市（司令1人、司令補1人）・初任科（士16人）・育休（士長2人）

※3 警防課付（定数外）内訳：・佐賀県防災航空隊（司令1人、司令補1人、士長1人）・好生館（司令補2人）

階 級 配 置		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	事 務 吏 員	再 任 用	計
多 久 消 防 署	署 長			1								1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副 課 長（1・2）				4							4
	1 課 庶 務 係					1		1			1	3
	2 課 庶 務 係				1		1				1	3
	1 課 予 防 指 導 係					1		2				3
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	1				3
	1 課 消 防 係					1	2	1				4
	2 課 消 防 係					1	1	2				4
	1課多久南西出張所					1	2	1	1			5
	2課多久南西出張所					1	2	1	1			5
小 計		0	0	3	5	7	9	9	2	0	2	37
南 部 消 防 署	署 長			1								1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副 課 長（1・2）				4							4
	1 課 庶 務 係					1		1	1		1	4
	2 課 庶 務 係					1	1		1		1	4
	1 課 予 防 指 導 係					1	1	1	1			4
	2 課 予 防 指 導 係					2	1		1			4
	1 課 消 防 係					1	1	1				3
	2 課 消 防 係				1		1	1				3
	1 課 救 急 係					1	1	1	1			4
	2 課 救 急 係					1	2		1			4
	1課久保田出張所					1	2	1	1			5
	2課久保田出張所					1	2	1	1			5
小 計		0	0	3	5	10	12	7	8	0	2	47
北 部 消 防 署	署 長			1								1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副 課 長（1・2）				4							4
	1 課 庶 務 係					2		2				4
	2 課 庶 務 係					1		1	1		1	4
	1 課 予 防 指 導 係					1		2			1	4
	2 課 予 防 指 導 係					2		1	1			4
	1 課 消 防 係					1	1	1				3
	2 課 消 防 係					1	1	1				3
	1 課 救 急 係				1		1	2				4
	2 課 救 急 係					1	1	2				4
	1課富士出張所					1	2	1	1			5
	2課富士出張所					1	2	1	1			5
小 計		0	0	3	5	11	8	14	4	0	2	47

階 級 配 置		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	事 務 吏 員	再 任 用	計
小 城 消 防 署	署 長		1									1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副課長（1・2）				6							6
	1 課 庶 務 係					1	2				1	4
	2 課 庶 務 係					1	1	1			1	4
	1 課 予 防 指 導 係					1	3					4
	2 課 予 防 指 導 係					1	2	1				4
	1 課 消 防 係					1	2					3
	2 課 消 防 係				1		1	1				3
	1 課 救 急 係					1		3			1	5
	2 課 救 急 係					1	2	1	1			5
	1課北分署消防係					1	1	1	1		1	5
	2課北分署消防係					1	1	1	1		1	5
	1課北分署救急係					1	2	1				4
	2課北分署救急係					1	1	1	1			4
	小 計	0	1	2	7	11	18	11	4	0	5	59
神 埼 消 防 署	署 長		1									1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副課長（1・2）				4							4
	1 課 庶 務 係					1	1		1		1	4
	2 課 庶 務 係					1	1		1		1	4
	1 課 予 防 指 導 係				1		1	1	1			4
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	1	1			4
	1 課 消 防 係					1	2					3
	2 課 消 防 係					1	1	1				3
	1 課 救 急 係					1	1	2				4
	2 課 救 急 係					1	1	1	1			4
	1 課 三 脊 出 張 所					1	2	1	1			5
	2 課 三 脊 出 張 所					1	2		1		1	5
	1課吉野ヶ里出張所					1	2	1	1			5
	2課吉野ヶ里出張所					1	2	1	1			5
	小 計	0	1	2	5	11	17	9	9	0	3	57
合 計		1	6	26	58	96	114	77	57	4	19	458

年齢別職員数

令和7年4月1日現在

階級 年齢	正 監	監	司令 長	司令	司令 補	士 長	副 士 長	士	事務 吏員	計	人
30歳未満	18							1		1	
	19							6		6	
	20							4		4	
	21							5		5	
	22							5		5	
	23							12		12	
	24						3	7		10	
	25						2	5		7	
	26						6	3		9	
	27						6	3		9	
40歳未満	28						9	3		12	
	29					2	11	1		14	
	30					1	9			10	
	31					2	6			8	
	32					7	5	1		13	
	33					14	5			19	
	34					6	4			10	
	35					17	5	1		23	
	36				4	11	3			18	
	37				3	15	2		1	21	
50歳未満	38				7	7				14	
	39				5	5				10	
	40				8	8	1			17	
	41			2	5	4				11	
	42				6	5				11	
	43			1	4				1	6	
	44			1	3	1				5	
	45			3	5					8	
	46			4	6	1				11	
	47			1	3					4	
60歳未満	48			2	5					7	
	49			5	3	3				11	
	50		1	11	9	1				22	
	51		1	8	1					10	
	52		3	5	7					15	
	53		2	4		1				7	
	54		6	4	4	1				15	
	55		3	2		1				6	
	56	1	6	2	3				1	13	
	57	2	1						1	4	
60歳以上	58		1							1	
	59	1	3	2	3	1				10	
	60				5	1				6	
	61					5				5	
	62					2				2	
計	63					7				7	
	64					4				4	
平均年齢	59.0	57.8	54.7	50.4	45.6	40.9	30.2	23.4	48.3	40.2	

※定数外職員32人

【消防庁派遣（士長1人）・佐賀県派遣（司令1人、司令補 4人、士長2人）・佐賀市派遣（司令1人、司令補 1人）・初任科（士16人）・育休（士長2人）】、再任用短時間（4名）

勤続年数別職員数

令和7年4月1日現在

階級 年数	正 監	監	司令 長	司令	司令 補	士 長	副 士 長	士	事務 吏員	計	人
1年未満								17	1	18	10
1年								11	1	12	20
2年	1							7		8	30
3年							3	7		10	
4年							5	6		11	
5年							5	2		7	
6年						1	8	1		10	
7年							11	3		14	
8年						1	9	2		12	
9年						2	7			9	
10年						4	2	1		7	
11年						9	8			17	
12年						13	5			18	
13年						17	6			23	
14年					3	9	4			16	
15年					3	11	1			15	
16年					5	16	1			22	
17年					10	14				24	
18年				2	12	6	2			22	
19年				4	5	2				11	
20年				1	1					2	
21年				1	1					2	
22年				1	2					3	
23年					3					3	
24年				1	5	1				7	
25年				4	7					11	
26年				2	4					6	
27年			2	3	2	2			1	10	
28年				1						1	
29年			1	1	3					5	
30年			1	3	5	1				10	
31年				6	5	4				15	
32年			4	15	7				1	27	
33年			3	6	1					10	
34年		1	5	4	7	1				18	
35年		1	1	1	1					4	
36年			3			2				5	
37年			1		1	1				3	
38年		3	3			3				9	
39年						1				1	
40年			1							1	
41年		1	1	2	1	3				8	
42年					2	5				7	
43年										0	
44年						3				3	
45年						1				1	
46年										0	
計	1	6	26	58	96	133	77	57	4	458	
平均勤続年数	2.0	37.3	34.0	29.2	24.4	17.9	8.9	2.3	15.0	19.0	

※定数外職員32人【消防庁派遣（士長1人）・佐賀県派遣（司令1人、司令補4人、士長2人）・佐賀市派遣（司令1人、司令補1人）・初任科（士16人）・育休（士長2人）】、再任用短時間（4名）

職員の特殊技能・資格取得状況

令和7年4月1日現在

階 級 資 格 名		司令 以上	司令補	士 長	副士長	士	計
車 両	大型自動車（Ⅰ種）	79	81	85	15	2	262
	大型自動車（Ⅱ種）	2	1	2	0	0	5
	中型自動車	4	30	97	60	7	198
無 線	陸上特殊無線技士（第1級）	14	7	5	0	0	26
	陸上特殊無線技士（第2級）	76	54	30	4	2	166
	陸上特殊無線技士（第3級）	8	42	102	74	29	255
救 急	救 急 救 命 士	33	34	45	17	11	140
	気管内挿管資格取得者	6	13	25	2	0	46
	薬剤投与資格取得者	32	34	44	13	5	128
	救 急 科	0	0	1	19	27	47
	救 急 標 準 課 程	42	68	96	52	6	264
	救 急 Ⅱ 課 程	44	24	21	0	0	89
	救 急 Ⅰ 課 程	49	21	22	0	0	92
救 助	玉 掛 技 能 士	69	84	111	76	40	380
	ク レ ー ン 技 能 士	80	88	124	77	40	409
	ア ー ク 溶 接 士	25	12	7	0	0	44
	ガ ス 溶 接 士	48	55	53	5	1	162
	小 型 船 舶 操 縦 士	36	40	41	6	0	123
	潜 水 士	85	96	132	76	40	429
	水 上 安 全 法 指 導 員	1	1	0	0	0	2
	酸素欠乏危険作業主任者	87	96	126	77	40	426
建 築 ・ 予 防	2 級 建 築 士	1	0	0	0	0	1
	予 防 技 術 検 定	40	49	70	33	7	199
	電 気 工 事 士	5	3	4	1	0	13
	消 防 設 備 士（甲）	4	3	2	0	0	9
	消 防 設 備 士（乙）	10	10	5	1	0	26
	危 険 物 取 扱 者（甲）	1	3	0	0	0	4
	危 険 物 取 扱 者（乙）	17	26	26	11	1	81
	危 険 物 取 扱 者（丙）	6	12	3	0	0	21
	毒 物 劇 物 取 扱 者	3	2	0	0	0	5
そ の 他	衛 生 管 理 者	19	0	3	0	0	22
	特定化学物質作業主任者	26	19	7	0	0	52

消防音楽隊

(1) 概 要

音楽を通じて市民の火災予防思想の普及を図り、併せて消防職員の士気の高揚と情操の育成に資することを目的として、昭和44年5月1日に同好者23名で音楽部を結成した。逐年の活動の結果、各種行事での演奏の機会も多くなり、消防広報を更に効果的なものにするため、昭和48年8月1日に音楽隊の設置規程を制定し、名称も佐賀市消防音楽隊として正式に発足した。昭和57年3月には同規程の一部を改正して、消防団員も音楽隊員に委嘱することができるようにし職団員をもって消防広報に活躍している。平成12年4月1日佐賀広域消防局発足と同時に名称変更が行われ、『佐賀広域消防局消防音楽隊』となった。

平成26年4月からは、消防職団員以外の者も広く音楽隊員に委嘱できるようにした。

現在は、週一回の定期的な合同練習を行い、各種演奏出場に備えている。

(2) 編 成

令和7年4月1日現在

楽 器 名 等	職 員			講 師	一 般 隊 員	人 員 計	
	隊長	副隊長	隊 員				
指 揮				1		1	
フ ル ー ト (ピッコロ)					4 (2)	4	(2)
クラリネット (バスクラリネット)			2		4 (2)	6	(2)
アルトサクソフォン テナーサクソフォン バリトンサクソフォン		1	2		4 (3)	7	(3)
トランペット		1			5 (2)	6	(2)
ホ ル ン					4 (1)	4	(1)
トロンボーン			2		4 (1)	6	(1)
ユーフォニウム			1 (1)		2 (2)	3	(3)
チ ュ ー バ	1				2	3	
ベ ー ス コントラバス			1 (1)			1	(1)
パーカッション			2		3	5	
計	1	2	10 (2)	1	32 (13)	46	(15)

() 内はうち女性隊員数

(3) 令和6年の主な演奏出場

演奏月	行 事 名
1月	佐賀市消防団出初式
2月	さが農業まつり
3月	佐賀県消防大会
3月	春の火災予防コンサート
4月	佐賀県消防職員意見発表会
8月	脊振わんぱくまつり
9月	救急フェスタ
9月	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024佐賀
10月	ライトファンタジーオープニングパレード
11月	さが防火フェスタ2024

消防団の概要

令和7年4月1日現在

市 町	団本部所在地	消防団長	団	分団	部	定員	実員
佐賀市	〒840-8501 佐賀市栄町1番1号 佐賀市役所 危機管理防災課 TEL:0952-40-7015 FAX:0952-24-3187	原 田 司	1	47	210	3,500	3,026 (80)
多久市	〒846-0002 多久市北多久町大字小侍22-1 佐賀広域消防局 多久消防署内 TEL:0952-75-2181 FAX:0952-75-2110	松 岡 伸 一	1	5	17	350	319 (11)
小城市	〒845-8511 小城市三日月町長神田2312-2 小城市役所 防災対策課 TEL:0952-37-6119 FAX:0952-37-6163	下 村 一 寿	1	12	44	900	724 (14)
神崎市	〒842-8601 神崎市神崎町鶴3542番地1 神崎市役所 総務企画部防災危機管理課 TEL:0952-37-0104 FAX:0952-52-1120	重 松 大 介	1	8	51	1,020	907 (21)
吉野ヶ里町	〒842-8501 吉野ヶ里町吉田321番地2 吉野ヶ里町役場 総務課 TEL:0952-37-0330 FAX:0952-53-6571	菰 方 重 広	1	9	23	499	444 (21)
合 計			5	81	345	6,269	5,420 (147)

実員のうち（ ）内は女性団員数

消防団現勢

令和7年4月1日現在

区 市 町	人 員								消 防 機 械			
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計	ポ ン プ 車	ポ ン プ 小 型 動 力 積 載 車	小 型 動 力 ポン プ	合 計
佐賀市	1	15	54	56	213 (7)	396 (14)	2,211 (59)	2,946 (80)	4	200		204
多久市	1	2	5	10	23 (1)	60 (1)	207 (9)	308 (11)	5	12		17
小城市	1	2	13	15	43 (1)	116 (2)	520 (11)	710 (14)	0	47		47
神崎市	1	3	9	34	51 (1)	158 (3)	630 (17)	886 (21)	1	52		53
吉野ヶ里町	1	3	8	10	22 (1)	76 (4)	303 (16)	423 (21)	7	15		22
合計	5	25	89	125	352 (11)	806 (24)	3,871 (112)	5,273 (147)	17	326		343

実員のうち（ ）内は女性団員数

年齢別消防団員数

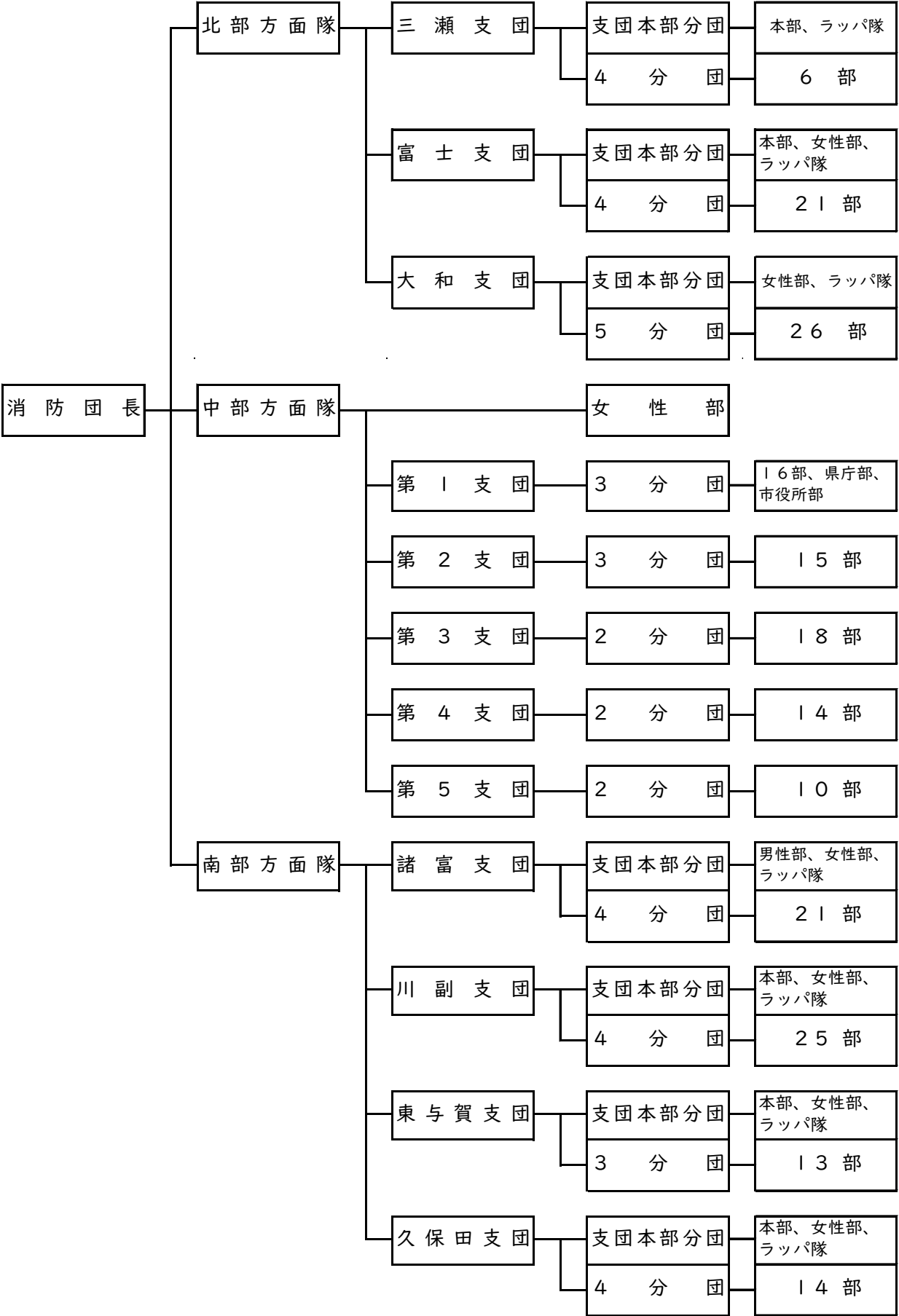
令和7年4月1日現在

市町 年齢		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計	人
30歳未満	18	2	0	1	1	0	4	
	19	4	0	1	0	1	6	
	20	6	1	3	5	0	15	
	21	12	0	8	5	1	26	
	22	14	1	6	4	2	27	
	23	20	1	3	2	0	26	
	24	32	7	13	8	2	62	
	25	33	6	15	8	5	67	
	26	30	2	7	10	10	59	
	27	30	10	14	8	1	63	
	28	31	5	6	9	4	55	
	29	59	7	12	23	7	108	
40歳未満	30	50	13	28	13	9	113	
	31	55	10	13	16	8	102	
	32	73	15	17	25	6	136	
	33	66	10	24	16	8	124	
	34	91	20	23	25	11	170	
	35	84	13	24	20	11	152	
	36	95	7	17	38	23	180	
	37	94	19	32	38	18	201	
	38	105	15	27	34	12	193	
	39	137	18	45	33	15	248	
50歳未満	40	123	15	35	46	20	239	
	41	114	6	27	40	15	202	
	42	92	19	25	38	12	186	
	43	130	14	34	47	25	250	
	44	126	21	24	49	12	232	
	45	90	8	29	46	17	190	
	46	110	6	31	36	15	198	
	47	105	6	38	25	11	185	
	48	108	10	25	32	16	191	
	49	102	3	26	39	10	180	
60歳未満	50	101	3	12	33	12	161	
	51	103	2	17	22	9	153	
	52	91	1	18	25	9	144	
	53	65	3	5	13	10	96	
	54	61	2	10	11	7	91	
	55	55	3	4	15	15	92	
	56	42	2	2	3	11	60	
	57	51	0	8	12	9	80	
	58	45	1	4	7	3	60	
	59	50	0	1	5	4	60	
60歳以上	60	27	2	1	3	4	37	
	61	24	1	1	2	2	30	
	62	35	2	1	2	4	44	
	63	28	2	0	2	1	33	
	64	18	1	1	7	6	33	
	65以上	7	6	6	6	31	56	
計		3,026	319	724	907	444	5420	

消防団組織図

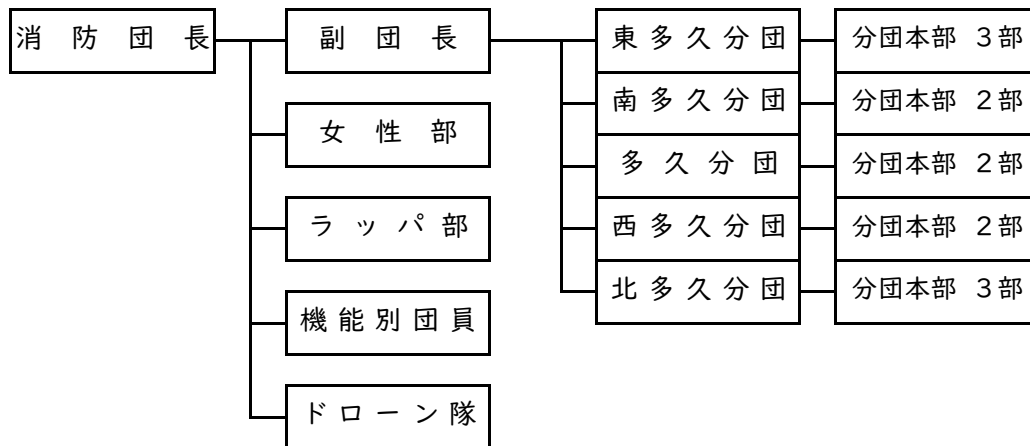
佐賀市消防団組織図

令和7年4月1日現在



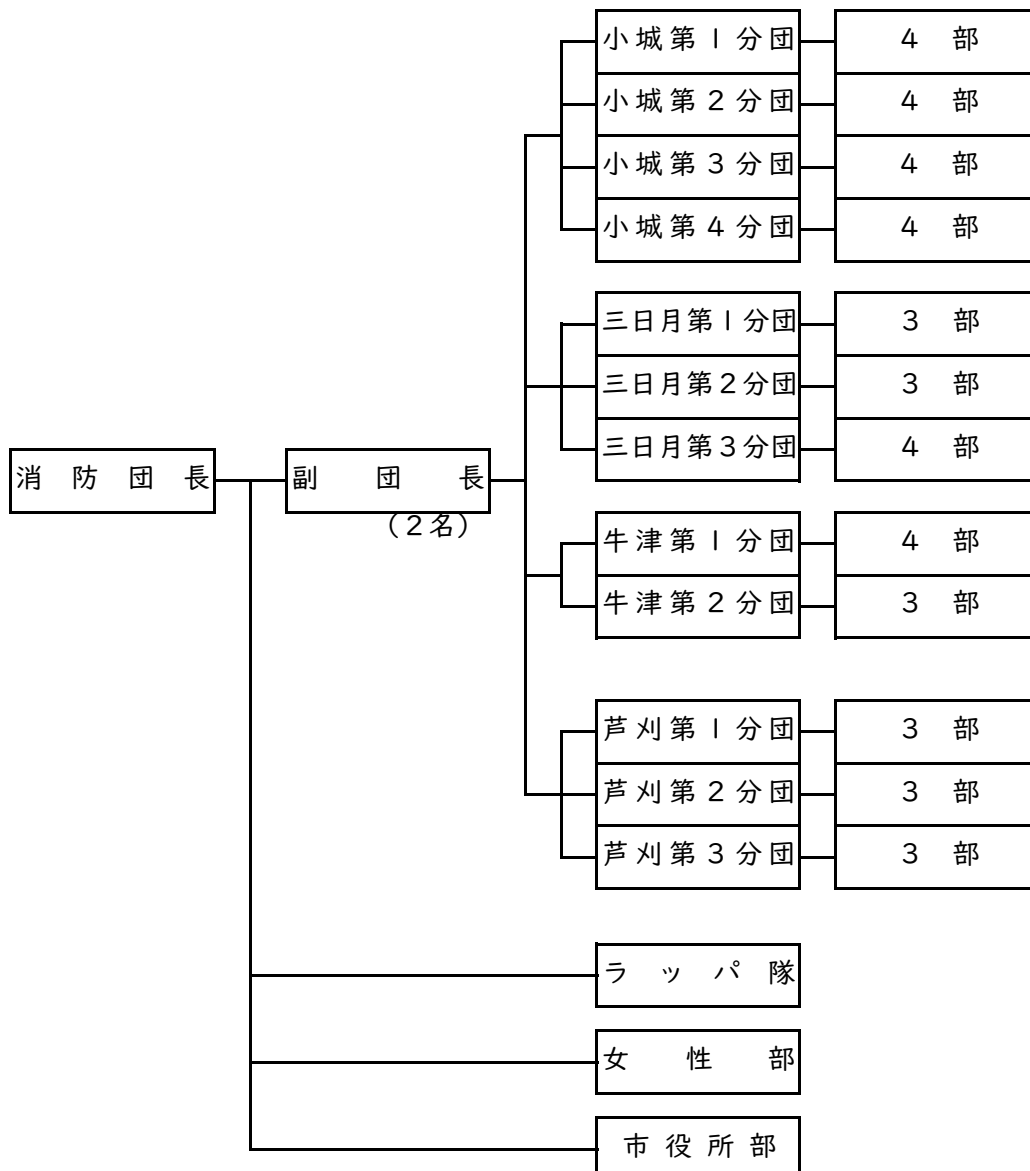
多久市消防団組織図

令和7年4月1日現在



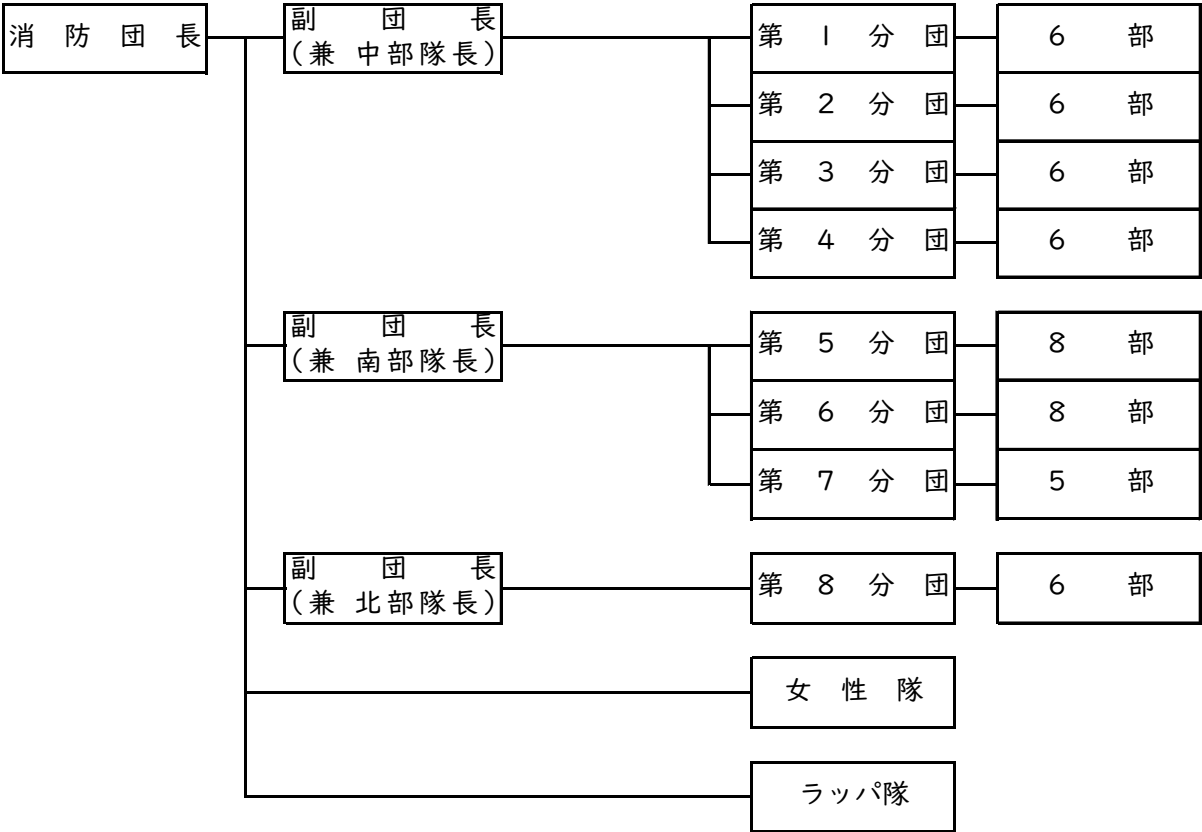
小城市消防団組織図

令和7年4月1日現在



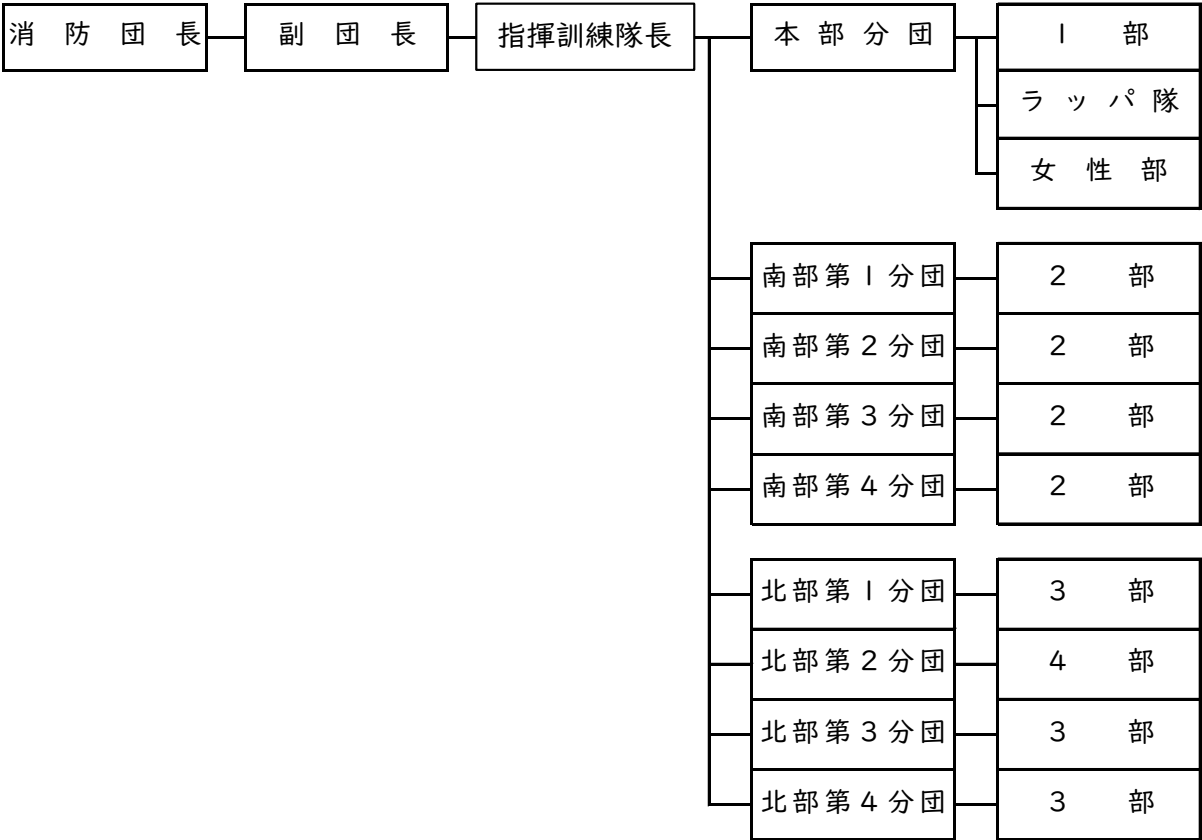
神崎市消防団組織図

令和7年4月1日現在

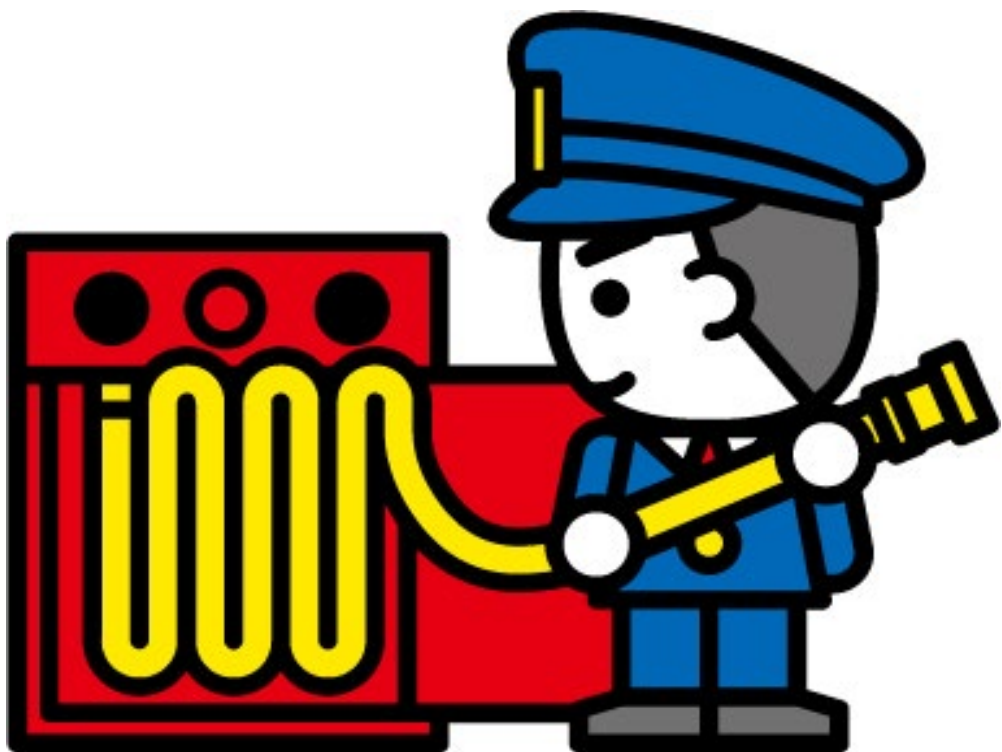


吉野ヶ里町消防団組織図

令和7年4月1日現在



○ 予 防



建築物申請処理状況

令和6年度中

市 町 申 請		佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	計
処 理 状 況	同 意 (指 導 無)	212	15	44	36	31	338
	同 意 (指 導 有)	85	1	2	2	3	93
	許 可 申 請 書	36	4	1	3	1	45
計		333	20	47	41	35	476
内 訳	新 築	238	11	39	29	28	345
	増 築	83	9	8	12	7	119
	改 築	5					5
	増 改 築						
	模 様 替						
	用 途 変 更	6					6
	大 修 繕	1					1
	そ の 他 工 作 物						

用途別防火対象物使用開始届出状況

令和6年度中

市 町			佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
用 途								
1	イ	劇場・映画館・観覧場等						
	ロ	公会堂・集会場	3	2				5
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール						
	ハ	性風俗営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店	9	2	1	1		13
4		百貨店・物品販売業	7		1		2	10
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	2					2
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	17		3	1		21
6	イ	病院・診療所・助産所	5					5
	ロ	老人短期入所施設等			1			1
	ハ	老人デイサービスセンター等	33	1	3	4	1	42
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1					1
7		学校・各種学校	2					2
8		図書館・博物館・美術館						
9	イ	蒸気浴場等						
	ロ	上記以外の公衆浴場	1					1
10		車両停車場・航空機発着場						
11		神社・寺院・教会等	1		1			2
12	イ	工場又は作業場	9			4		13
	ロ	映画、テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	6	1		3		10
	ロ	航空機等の格納庫						
14		倉庫	9	7	6	5	1	28
15		前項に該当しない事業場	32	5	4	3	7	51
16	イ	特定複合用途防火対象物	10		1		1	12
	ロ	上記以外の複合用途	3	1				4
16の2		地下街						
17		重要文化財・史跡						
18		50m以上のアーケード						
19		市町村長の指定する山林						
20		総務省令で定める舟車						
計			150	19	21	21	12	223

防火対象物数

令和7年4月1日現在

市 町			佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
用 途								
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	16	3	1		2	22
	ロ	公会堂・集会場	89	15	26	9	6	145
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール	14		3	2	3	22
	ハ	性風俗営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	6		1		2	9
3	イ	待合・料理店	5		1	5	3	14
	ロ	飲食店	507	27	57	40	46	677
4		百貨店・物品販売業	445	27	69	37	26	604
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	217	5	42	36	2	302
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	3,239	67	273	209	156	3,944
6	イ	病院・診療所・助産所	247	14	29	26	24	340
	ロ	老人短期入所施設等	221	14	34	28	7	304
	ハ	老人デイサービスセンター等	428	40	66	48	22	604
	ニ	幼稚園・特別支援学校	65		2		2	69
7		学校・各種学校	321	28	47	47	11	454
8		図書館・博物館・美術館	15	3	2	1	4	25
9	イ	蒸気浴場等	4		1		1	6
	ロ	上記以外の公衆浴場	5					5
10		車両停車場・航空機発着場	2			1	1	4
11		神社・寺院・教会等	199	20	40	37	8	304
12	イ	工場又は作業場	917	141	191	182	136	1,567
	ロ	映画、テレビスタジオ	1					1
13	イ	自動車車庫・駐車場	166	14	23	17	3	223
	ロ	航空機等の格納庫	3				3	6
14		倉庫	863	125	179	175	109	1,451
15		前項に該当しない事業場	1,158	114	134	128	115	1,649
16	イ	特定複合用途防火対象物	685	33	62	35	12	827
	ロ	上記以外の複合用途	326	14	27	22	14	403
16の2		地下街						
17		重要文化財・史跡	14	4	4	3		25
18		50m以上のアーケード	2					2
19		市町村長の指定する山林						
20		総務省令で定める舟車						
計			10,180	708	1,314	1,088	718	14,008

中高層建築物（４階以上）

令和７年４月１日現在

階・用途		市町	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
	4階		383	23	12	34	31	483
	5階		223	5	9	5	9	251
	6階		98	2		1	1	102
	7階		61		2			63
	8階		53			1		54
	9階		34					34
	10階		40		2			42
	11階		18					18
	12階		8					8
	13階		10					10
	14階以上		37					37
	計		965	30	25	41	41	1,102
1	イ 劇場・映画館・観覧場等		4					4
	ロ 公会堂・集会場		4					4
2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等							
	ロ 遊技場・ダンスホール		2					2
	ハ 性風俗営業店舗等							
	ニ カラオケボックス等							
3	イ 待合・料理店							
	ロ 飲食店		9					9
4	百貨店・物品販売業		5		1			6
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所		20	1	2		1	24
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅		530	20	11	22	32	615
6	イ 病院・診療所・助産所		23	2	2			27
	ロ 老人短期入所施設等		7	2	2	3		14
	ハ 老人デイサービスセンター等		7					7
	ニ 幼稚園・特別支援学校							
7	学校・各種学校		35		3	4		42
8	図書館・博物館・美術館		1					1
9	イ 蒸気浴場等							
	ロ 上記以外の公衆浴場							
10	車両停車場・航空機発着場		1					1
11	神社・寺院・教会等		1					1
#	イ 工場又は作業場		15	1	1	3	3	23
	ロ 映画、テレビスタジオ							
#	イ 自動車車庫・駐車場		3					3
	ロ 航空機等の格納庫							
14	倉庫		5			1	1	7
15	前項に該当しない事業場		84	2		5	4	95
#	イ 特定複合用途防火対象物		125	2	3			130
	ロ 上記以外の複合用途		84			3		87
16の2	地下街							
17	重要文化財・史跡							
18	50m以上のアーケード							
19	市町村長の指定する山林							
20	総務省令で定める舟車							
	専用住宅							

数量別危険物施設数

令和7年4月1日現在

区分 数量	製造所	貯蔵所							取扱所			計
		屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油	販売	一般	
5倍以下	0	76	0	3	38	84	0	106	6	1	78	392
5倍超 10倍以下	2	26	12	1	33	52	0	9	10	1	35	181
10倍超 50倍以下	2	18	16	1	47	47	0	18	45	3	43	240
50倍超 100倍以下	3	4	1	0	25	6	0	1	22	0	9	71
100倍超 150倍以下	0	2	0	0	4	2	0	0	13	0	0	21
150倍超 200倍以下	0	2	0	0	5	1	0	0	23	0	3	34
200倍超 1,000倍以下	2	6	0	0	7	3	0	0	46	0	2	66
1,000倍超 5,000倍以下	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6
計	9	139	29	5	160	195	0	134	165	5	170	1,011

危険物施設数

令和7年4月1日現在

区分 市 町		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
製造所		3	0	1	0	5	9
貯蔵所	屋内	70	10	16	10	33	139
	屋外	4	5	0	2	18	29
	屋内タンク	2	0	0	2	1	5
	屋外タンク	72	10	19	21	38	160
	地下タンク	109	19	26	27	14	195
	簡易タンク	0	0	0	0	0	0
	移動タンク	71	3	12	16	32	134
取扱所	給油	101	17	23	15	9	165
	販売	5	0	0	0	0	5
	一般	90	18	18	26	18	170
計		527	82	115	119	168	1,011

幼少年女性防火委員会

名 称	結成年月日	事 務 局
佐賀地区幼少年女性防火委員会	平成12年4月1日	佐賀広域消防局 予防課

1 委員会の設立

平成12年4月1日、佐賀広域消防局発足と同時に旧佐賀市消防本部、旧多久市消防本部、旧佐賀郡消防本部、旧小城地区消防本部の各幼少年女性防火委員会が統合し設置された。

平成25年4月1日、新に神埼地区消防本部と統合し、旧神埼地区消防本部の各幼少年女性防火委員会も統合された。

幼年・少年消防クラブ

1 結成状況

令和7年4月1日現在

市町	幼年消防クラブ数	ク ラ ブ 員 数	少年消防クラブ数	ク ラ ブ 員 数
佐賀市	36	2,185	0	0
多久市	13	291	1	84
小城市	12	232	1	56
神崎市	8	844	0	0
吉野ヶ里町	5	473	1	31
合計	74クラブ	4,025名	3クラブ	171名

2 令和6年度の活動状況

月	活 動 の 内 容	市 町
6	火災予防広報及び住宅用火災警報器普及啓発活動	佐賀市
7	幼年消防クラブ員防災研修	佐賀市他
8	少年消防クラブ員防災視察研修	佐賀市他
11	さが防災フェスタ2024出演	佐賀市
11	幼年消防クラブ員一日消防署体験	多久市
11	幼年消防クラブ員防火パレード	多久市
11	秋季火災予防運動実施に伴う、登園児の防火法被着用	多久市
12	幼年消防クラブ員火災予防広報活動	佐賀市
1	多久市消防団出初式への出演	多久市
1	吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市 住宅用火災警報器普及啓発活動	吉野ヶ里町
2	吉野ヶ里ロードレース 防火広報活動	吉野ヶ里町
3	春季火災予防運動実施に伴う火災予防広報	佐賀市
3	春季火災予防運動実施に伴う、登園児の防火法被着用	多久市
3	大和町防火の集い	佐賀市

女性防火クラブ

1 結成状況

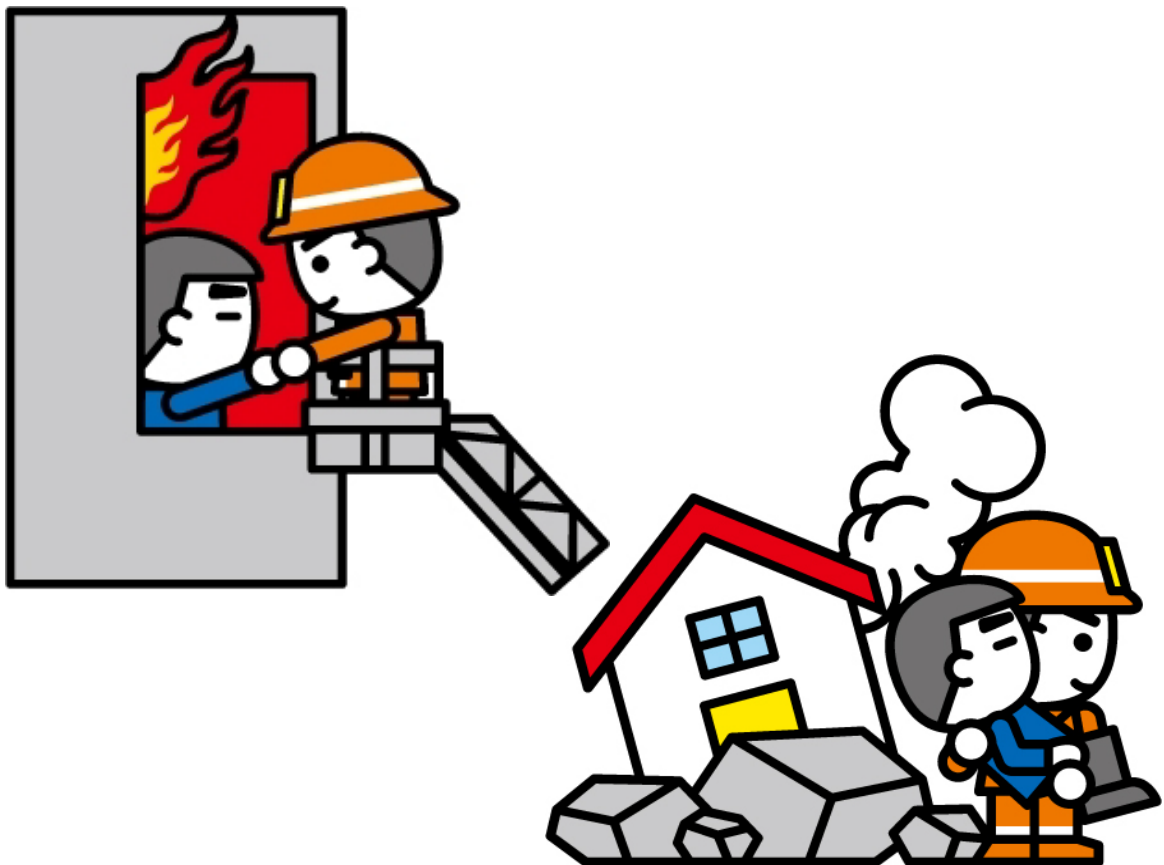
令和7年4月1日現在

市 町	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
佐賀市	1	7
合 計	1クラブ	7名

2 令和6年度の活動状況

月	活 動 の 内 容	市 町
6、11	さが防火フェスタへの協力、火災予防広報及び住宅用火災警報器普及啓発活動への協力	佐賀市

○ 警 防



緊急消防援助隊の紹介

1 緊急消防援助隊とは

大規模災害や特殊災害が発生し、被災地の消防機関のみでは対処できないような場合に、全国の消防本部や航空隊が応援に駆け付けます。

この応援部隊が「緊急消防援助隊」です。

- (1) 契 機：平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災
- (2) 創 設：平成7年6月
- (3) 法制化：平成15年に成立【平成16年から施行】

2 全国の緊急消防援助隊の登録状況

出典：総務省消防庁

部隊名	登録隊数	部隊名	登録隊数
指揮支援部隊	110隊	通信支援小隊	43隊
各部隊指揮隊	330隊	特殊災害小隊	371隊
消火小隊	2,416隊	特殊装備小隊	564隊
救助小隊	560隊	水上小隊	21隊
救急小隊	1,541隊	航空部隊	136隊
後方支援小隊	890隊	合 計	6,982隊

○指揮支援部隊：指揮支援隊、航空指揮支援隊

○各部隊指揮隊：都道府県大隊、統合機動部隊、NBC災害即応部隊、エネルギー産業基盤災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊

○航空部隊：航空小隊、航空後方支援小隊

3 佐賀広域消防局の登録状況

平成12年から緊急消防援助隊として登録しており、令和7年4月1日現在で、23隊90名が登録され、有事に備えています。

部隊名	登録隊数	登録人数	部隊名	登録隊数	登録人数
都道府県大隊 指揮隊	1隊	4名	救助小隊	2隊	10名
統合機動部隊 指揮隊	1隊	4名	救急小隊	4隊	12名
土砂・風水害機動支援部隊 指揮隊	1隊	4名	後方支援小隊	4隊	9名
NBC災害即応部隊 指揮隊	1隊	4名	特殊災害小隊	1隊	5名
消火小隊	6隊	30名	特殊装備小隊	2隊	8名

4 佐賀広域消防局の応援出動実績

(1) 東日本大震災（平成23年）

ア 派遣部隊：5隊19名

イ 派遣延べ人員：19名

ウ 派遣期間：平成23年3月14日～3月22日（9日間）



(2) 熊本地震（平成28年）

ア 派遣部隊：6隊23名

イ 派遣延べ人員：104名（交代要員等含む）

ウ 派遣期間：平成28年4月14日～3月24日（11日間）



(3) 九州北部豪雨（平成29年）

ア 派遣部隊：6隊23名

イ 派遣延べ人員：175名（交代要員等含む）

ウ 派遣期間：平成29年7月5日～7月25日（21日間）



(4) 令和2年7月豪雨

ア 派遣部隊：5隊17名

イ 派遣延べ人員：17名

ウ 派遣期間：令和2年7月4日～7月7日（4日間）



5 緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練

緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図るため、都道府県及び市町村の協力を得て、全国を6つのブロックに区分して、毎年地域ブロック合同訓練が実施されています。

○令和6年度九州ブロック合同訓練開催場所

長崎県東彼杵郡川棚町 川棚港周辺施設（メイン会場）



6 緊急消防援助隊ロゴマーク

緊急消防援助隊の結束力を一層強化し、その活動をより広く周知することなどを目的として、消防庁においてロゴマークが作成されました。救助活動に使用する消防の基本ツールであるカラビナをモチーフとしています。



緊急消防援助隊
National Fire Service Team for Disaster Response

消防水利の状況

令和7年4月1日現在

水利種別 市町	消火栓		防火水槽				計
	公設	私設	公設		私設		
			40m ³ 以上	40m ³ 未満	40m ³ 以上	40m ³ 未満	
佐賀市	2,732	74	415	77	10	2	3,310
多久市	286	1	238	14			539
小城市	675		68	40			783
神埼市	523		39	30			592
吉野ヶ里町	273		91	11			375
計	4,489	75	851	172	10	2	5,599

応急手当普及啓発活動実施状況

令和6年中

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
佐賀消防署	救命講習	件 数	1	2	1	1	1	3	4	3	1	2	1	1	21
		受 人 講 員	2	28	5	13	40	51	85	79	17	38	8	11	377
	その他の普及啓発（入門コース含む）	件 数	2	3	4	5	6	12	8	1	4	4	5	1	55
		受 人 講 員	16	196	66	126	258	319	254	30	98	83	97	38	1,581
多久消防署	救命講習	件 数							2	1	1	1	1		6
		受 人 講 員							19	8	5	3	8		43
	その他の普及啓発（入門コース含む）	件 数		1		2	3	2	4	2	5	1	1	1	22
		受 人 講 員		30		90	46	36	65	95	89	25	30	20	526
南部消防署	救命講習	件 数	2	1		1	1		2	1	1	1	1		11
		受 人 講 員	18	5		10	4		33	2	16	10	18		116
	その他の普及啓発（入門コース含む）	件 数	1	2		2	6	4	4	6	3	2	2	2	34
		受 人 講 員	27	171		110	99	65	141	177	53	73	23	54	993
北部消防署	普通救命講習	件 数			1	1	1	2	4	1	1	1		1	13
		受 人 講 員			5	6	4	33	69	19	11	6		13	166
	その他の普及啓発（入門コース含む）	件 数			4	2	3	8	9	3	1	1	4		35
		受 人 講 員			120	46	57	277	200	50	11	20	64		845
小城消防署	救命講習	件 数	1		1		1	5	2	1	3		1	2	17
		受 人 講 員	5		1		14	101	55	3	49		11	7	246
	その他の普及啓発（入門コース含む）	件 数		1	1	1	1	4	5	8	2	4	5		32
		受 人 講 員		7	8	9	30	45	138	193	35	100	111		676
神埼消防署	救命講習	件 数	1	2	1		1	1		1	2	1		2	12
		受 人 講 員	6	30	10		16	20		14	13	19		23	151
	その他の普及啓発（入門コース含む）	件 数	1	4	1	1	3	7	5	3	4	2		2	33
		受 人 講 員	8	99	20	10	64	127	116	63	60	21		16	604
合 計	救命講習	件 数	5	5	4	3	5	11	14	8	9	6	4	6	80
		受 人 講 員	31	63	21	29	78	205	261	125	111	76	45	54	1,099
	その他の普及啓発活動	件 数	4	11	10	13	22	37	35	23	19	14	17	6	211
		受 人 講 員	51	503	214	391	554	869	914	608	346	322	325	128	5,225

《救命講習》心肺蘇生法（AED含む）や止血法などを指導する講習で、修了証を発行しています。

《その他の普及啓発活動》住民、団体からの要望に合わせた応急手当の講習会や応急手当の指導員を養成する講習等です。

○ 救急講習の概要

講習種別	講習時間	講習内容	修了証の交付
普通救命講習Ⅰ	3時間	心肺蘇生法(主に成人)、止血法、異物除去、AED取扱。	あり
普通救命講習Ⅱ	4時間	普通救命講習Ⅰに筆記・実技試験が加わります。	あり
普通救命講習Ⅲ	3時間	小児・乳児・新生児用の心肺蘇生法、止血法、異物除去、AED取扱。	あり
上級救命講習	8時間	心肺蘇生法(成人・小児・乳児対象)、止血法、傷病者管理法、AED取扱、外傷の手当て、搬送法、異物除去。 筆記・実技試験があります。	あり
その他の普及啓発活動	3時間未満	受講者のニーズに合わせた救命に関する講習です。	なし

○ 講習の様子



救マーク制度

宿泊施設、公共施設、スポーツ施設、店舗など、多数の方が利用する施設の従業員に対して救マーク講習を実施し、当該受講者が施設に常駐することで、利用者に安心して利用できる施設であることを表示するもので、平成17年7月1日から施行しています。講習内容については、普通救命講習Ⅱ（普通救命講習Ⅰ＋筆記・実技試験）を行っています。（4時間）

○ 施設別救マーク交付状況

用 途	計
宿泊施設	15
公共施設	14
スポーツ施設	8
店 舗	5
そ の 他	6
計	48

○ 市町別救マーク交付状況

市 町	計
佐 賀 市	36
多 久 市	3
小 城 市	7
神 埼 市	1
吉野ヶ里町	1
計	48

救急資器材保有状況

(令和7年4月1日現在)

資 機 材		署							計	資 機 材		署							計
		佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署	佐賀消防署				多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署			
観 察 用 資 器 材	患 者 監 視 用 モ ニ タ ー	6	2	2	3	3	4	20	訓 練 用 資 器 材	心肺蘇生法訓練用人形（成人用）	20	11	9	6	6	13	65		
	血 中 酸 素 飽 和 度 測 定 器	11	4	4	3	3	7	32		心肺蘇生法訓練用人形（小児用）	20	8	8	8	8	15	67		
	血 糖 測 定 器	9	2	2	3	3	4	23		心肺蘇生法訓練用人形（乳児用）	20	8	9	8	8	13	66		
	体 温 計	25	11	7	10	12	14	79		胸骨圧迫トレーニングツール	40	40	40	39	40	40	239		
	血 圧 計	10	2	2	5	6	7	32		AED ト レ ー ナ ー	16	11	11	6	6	13	63		
処 置 用 資 器 材	電 動 式 吸 引 器	9	4	4	5	6	7	35	器 材	気道管理トレーナー（成人用）									
	自 動 心 肺 蘇 生 器	2	2	1	2	1	3	11		高度救命処置シミュレーター	4	2	2	2	2	3	15		
	全 身 固 定 用 具	17	7	9	9	9	14	65		外 傷 モ デ ル キ ッ ト						1	1		
	上 半 身 脊 柱 固 定 用 具	6	3	2	2	2	4	19		オ ズ ン 殺 菌 装 置		1					1		
	半 自 動 式 除 細 動 器	6	2	2	3	3	4	20	消 毒 用 資 器 材	オ ー ト ク レ ー プ 殺 菌 器									
	自 動 式 人 工 呼 吸 器	6	2	2	3	3	4	20		低濃度オゾンガス生成装置	6	2	3	2	2	6	21		

※¹ 訓練用の資器材は除く。
※² 血圧計は、車両に設置されているものを除く。
※³ 上半身脊柱固定用具：ショートボード、KED等
※⁴ ZOOLは除細動で計上している。

救助資機材保有状況

令和7年4月1日現在

資器材		署	佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署	計	資器材		署	佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署	計
一般救助用器具	かぎ付きはしご		10	4	3	3	3	3	26	重量物排除器具	油圧ジャッキ		11		3	1	4		19
	三連はしご		12	2	4	5	6	6	35		油圧スプレッダー								0
	金属製折りたたみはしご		1	1	1	2	1		6		可搬ウインチ		4	2	1	2	3	2	14
	空気式救助マット		1				1		2		マット型空気ジャッキ		5		1	1	1	3	11
	救命索発射銃		1	1	1	1	1	1	6		マンホール救助器具				1		1	1	3
	救助用縛帯		16	4	4	4	7	6	41	破壊用器具	万能斧		42	12	15	18	19	23	129
高度救助用器具	画像探索機		1				1		2		携帯用コンクリート破壊器具		1	2	2	1	2	1	9
	地中音響探知機		1				1		2		削岩機		2		1		4		7
	熱画像直視装置		3	2	2	3	4	3	17		ハンマードリル		2				1		3
	夜間用暗視装置		1				1		2	呼吸保護用器具	空気呼吸器		50	27	25	19	27	22	170
	地震警報器		1				1		2		酸素呼吸器		5				4		9
	電磁波探査装置		1						1		簡易呼吸器								0
切断用器具	油圧切断機		1						1		防塵マスク		19				2		21
	エンジンカッター		8	3	3	3	4	3	24	水難救助用器具	送排風機		3	1	1	1	1		7
	ガス溶断機		1						1		エアラインマスク式		2						2
	チェーンソー		6	5	3	3	6	5	28		潜水器具					14			14
	鉄線カッター		15	8	11	10	9	11	64		救命胴衣		50	19	25	54	28	31	207
	空気鋸		2	1		1	1		5	救助用器具	水中投光器					16			16
測定用器具	アークエアー溶断機								0		救命浮環		14	2	7	7	5	3	38
	可燃性ガス測定器		7	2	2	2	3	3	19		浮標		2			2			4
	有毒ガス測定器		1				1	3	5		救命ボート		2	2	2	3	3	2	14
隊員保護用器具	放射線測定器		27	14	15	15	18	7	96		船外機			1		2	1	1	5
	耐電手袋		12	3	3	4	5	2	29	その他の救助用器具	投光器		15	6	6	5	5	7	44
	耐電衣		10	3	3	1	2		19		携帯投光器		17	18	9	13	12	1	70
	耐電ズボン		10	3	3	1			17		携帯拡声器		23	12	15	13	11	14	88
	耐電長靴		10	1	3	1	2		17		携帯無線機		46	16	20	20	20	26	148
	化学防護服		54	17	77	32	55	97	332		応急処置用セット		3	2	2	3	4	2	16
	防塵メガネ		3						3		緩降機		1		1				2
	携帯警報器		6	9	13	4	13	20	65		バスケット型担架		3	2	2	3	2	1	13
	防毒マスク		26		30	9	15	3	83		発電機		9	7	8	6	12	8	50
	耐熱服		4		4			5	13		救助用支柱器具		1						1

国際消防救助隊の紹介

1 国際消防救助隊とは

海外における大規模災害発生時に、被災国等からの要請を受けて派遣される国際緊急援助隊救助チーム（JDR）のうち、消防機関で構成する救助チームのことを「国際消防救助隊」と言います。

国際消防救助隊は、全国の消防本部のうち、一定の要件を満たした77消防本部599名の救助隊員が登録されています。

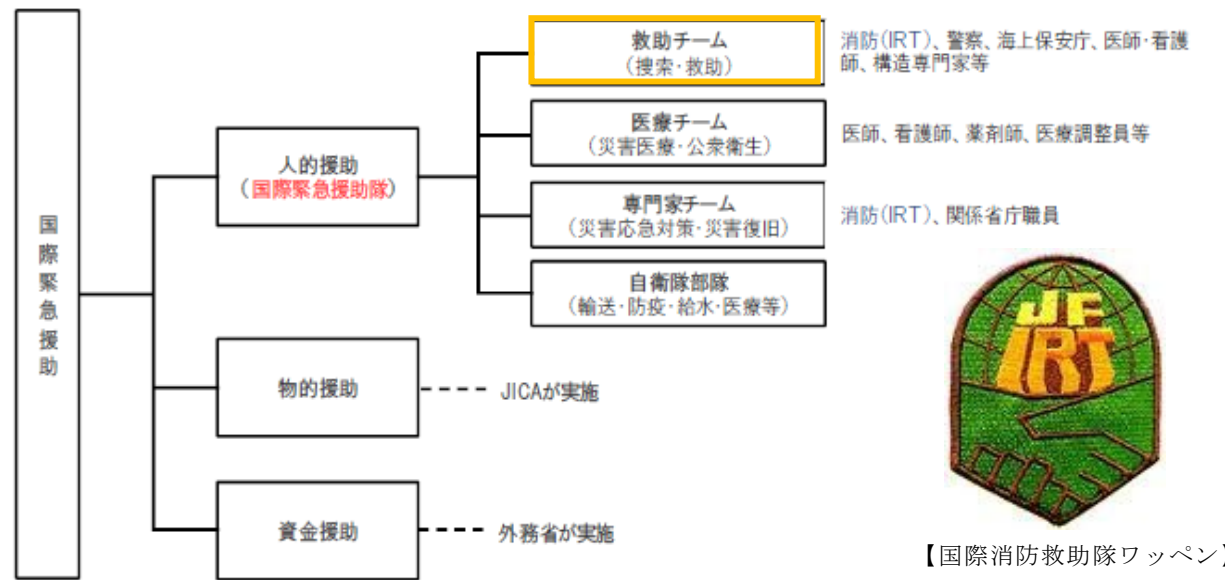
2 佐賀広域消防局の隊員登録等

国際消防救助隊の更なる搜索、救助体制の充実強化を目的として、平成21年10月に「国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準」が改正されました。

これを受け、佐賀広域消防局では協力市町村として登録申請を行い、同年協力市町村として登録され、現在6名の隊員が登録されています。

3 国際緊急援助隊の組織

国際緊急援助隊は、外務省、警察庁、消防庁、海上保安庁及び国際協力機構（JICA）の業務調整員並びに国際協力機構に登録している医療班、構造評価専門家で組織され、救助隊員は、消防庁、警察庁及び海上保安庁の3庁で構成されています。



4 国際消防救助隊の派遣実績

海外への災害派遣は、１９８７年の「国際緊急援助隊の派遣に関する法律（通称ＪＤＲ法）」施行前の２回を含めると、これまでに２２回行われています。

近年では、令和５年２月に発生したトルコ共和国における地震災害において、トルコ共和国政府からの援助要請に対し、国際消防救助隊１７名が派遣されています。

※ 現在のところ、佐賀広域消防局からの派遣実績はありません。

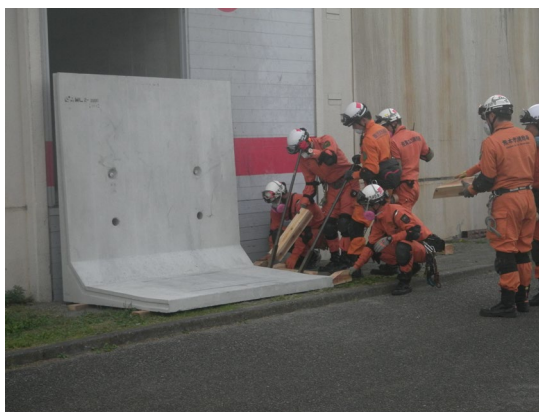
5 国際消防救助隊の訓練

(1) 国際消防救助隊連携訓練

国際消防救助隊員として必要とされる基礎的活動技術、知識の習得及び登録隊員相互の連携強化を図ることを目的に、毎年全国２か所で全ての登録消防本部が参加する連携訓練が実施されています。

(2) 九州地区国際消防救助隊合同訓練

毎年、九州７県の９登録消防本部が参加する合同訓練が実施されています。



国際消防救助隊の派遣状況					
(令和5年11月1日現在)					
	派遣年月日	災害名	被災地	被害状況	派遣実績、活動概要等
1	昭61.8.27～9.6 (11日間)	ニオス湖 有毒ガス噴出災害	カメルーン共和国 ニオス湖周辺	死者 1,700人以上	国際消防救助隊員1人（東京消防庁） 有毒ガスの再噴出に備え、調査団に対する呼吸保護具の指導
2	昭61.10.11～10.20 (10日間)	エル・サルバドル 地震災害	エル・サルバドル共和国 サンサルバドル市	死者 1,226人 倒壊家屋 30,000戸	国際消防救助隊員9人（東京消防庁5人、横浜市消防局3人、消防庁1人） 倒壊建物からの救助
3	平2.6.22～7.2 (11日間)	イラン 地震災害	イランイスラム共和国 カスピ海沿岸	死者 80,000人以上	国際消防救助隊員6人（東京消防庁5人、消防庁1人） 倒壊建物からの救助
4	平2.7.18～7.26 (9日間)	フィリピン 地震災害	フィリピン共和国 ルソン島北部	死者 1,600人以上	国際消防救助隊員11人（東京消防庁2人、名古屋市消防局4人、広島市消防局4人、消防庁1人） 倒壊建物からの救助
5	平3.5.15～6.6 (23日間)	バングラデシュ サイクロン災害	バングラデシュ 人民共和国	死者 約130,000人	国際消防救助隊員38人（東京消防庁17人、大阪市消防局11人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、消防庁2人）及びヘリコプター2機 被災者への救援物資の輸送等を実施
6	平5.12.13～12.20 (8日間)	マレーシア ビル倒壊被害	マレーシア クアラルンプール郊外 ウル克蘭地区	死者 48人 倒壊ビル 1棟	国際消防救助隊員11人（東京消防庁6人、名古屋市消防局2人、北九州市消防局2人、消防庁1人） 倒壊建物からの救助
7	平8.10.30～11.6 (8日間)	エジプト ビル崩壊被害	エジプト・アラブ共和国 カイロ郊外 ヘリオポリス	死者 64人 崩壊ビル 1棟	国際消防救助隊員9人（東京消防庁3人、札幌市消防局2人、大阪市消防局2人、松戸市消防局1人、消防庁1人） 倒壊建物からの救助
8	平9.10.22～11.11 (21日間)	インドネシア 森林火災	インドネシア共和国 ランブン州	焼失面積 18,000ha (ランブン州内)	国際消防救助隊員30人（東京消防庁19人、名古屋市消防局5人、大阪市消防局3人、横浜市消防局2人、消防庁1人）及びヘリコプター2機 火災地点の上空からの情報収集、消火活動の助言
9	平11.1.26～2.4 (10日間)	コロンビア 地震災害	コロンビア共和国 アルメニア市周辺	死者 1,171人 負傷者 4,765人	国際消防救助隊員15人（東京消防庁8人、大阪市消防局2人、千葉市消防局2人、船橋市消防局2人、消防庁1人） 倒壊建物からの救助
10	平11.8.17～8.24 (8日間)	トルコ 地震災害	トルコ共和国 ヤロヴァ地区周辺	死者 約15,370人 負傷者 23,954人	国際消防救助隊員25人（東京消防庁12人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、市川市消防局2人、尼崎市消防局2人、消防庁1人） 倒壊建物からの救助
11	平11.9.21～9.28 (8日間)	台湾 地震災害	台湾中部	死者 2,333人 負傷者 10,002人	国際消防救助隊員46人（東京消防庁18人、仙台市消防局4人、千葉市消防局3人、京都市消防局4人、川口市消防本部2人、松戸市消防局2人、新潟市消防局2人、岡山市消防局2人、倉敷市消防局2人、佐世保市消防局2人、鹿児島市消防局2人、消防庁3人） 倒壊建物からの救助
12	平15.5.22～5.29 (8日間)	アルジェリア 地震災害	アルジェリア 民主人民共和国 ブーメルデス県周辺	死者 2,266人 負傷者 10,000人以上	国際消防救助隊員17人（東京消防庁8人、京都市消防局2人、仙台市消防局2人、川口市消防本部2人、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部2人、消防庁1人） 倒壊建物からの救助
13	平16.2.25～3.1 (6日間)	モロッコ 地震災害	モロッコ王国 アルホセイマ周辺	死者 628人 負傷者 926人	国際消防救助隊員7人（東京消防庁4人、千葉市消防局1人、京都市消防局1人、消防庁1人） 現地被害状況の調査、救助資機材取扱いに関する技術供与等を実施
14	平16.12.29～17.1.20 (23日間)	スマトラ沖大地震・ インド洋津波災害	タイ王国 ブーケット周辺	死者・行方不明者 229,866人	国際消防救助隊員46人（東京消防庁23人、大阪市消防局15人、千葉市消防局2人、横浜市消防局1人、相模原市消防本部1人、川越地区消防組合消防本部1人、消防庁3人）及びヘリコプター2機 捜索救助活動、人員・物資搬送、捜索技術指導等を実施
15	平17.10.9～10.18 (10日間)	パキスタン・ イスラム共和国 地震災害	パキスタン・イスラム共和国 バトグラム周辺	死者 73,338人 負傷者 69,412人	国際消防救助隊員13人（東京消防庁6人、横浜市消防局3人、船橋市消防局2人、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部1人、消防庁1人） 建物倒壊現場での捜索救助活動
16	平20.5.15～5.21 (7日間)	中国四川省における 地震災害	中華人民共和国四川省 広元市周辺	死者 69,227人 負傷者 374,643人	国際消防救助隊員17人（東京消防庁6人、川崎市消防局3人、名古屋市消防局3人、市川市消防局2人、藤沢市消防本部2人、消防庁1人） 建物倒壊現場での捜索救助活動
17	平21.10.1～10.8 (8日間)	インドネシア 西スマトラ州 バダン沖地震災害	インドネシア共和国 バダン市周辺	死者 1,117人 負傷者 約2,900人	国際消防救助隊員17人（東京消防庁6人、札幌市消防局3人、福岡市消防局3人、さいたま市消防局2人、横須賀市消防局2人、消防庁1人） 建物倒壊現場での捜索救助活動ほか
18	平23.2.22～3.12 (19日間)	ニュージーランド 南島地震災害	ニュージーランド クライストチャーチ市	死者 181人 (うち邦人28人)	国際消防救助隊員33人（東京消防庁16人、京都市消防局3人、千葉市消防局3人、相模原市消防局2人、高松市消防局2人、新潟市消防局2人、福岡市消防局2人、消防庁3人） 建物倒壊現場での捜索救助活動ほか
19	平27.4.26～5.9 (14日間)	ネパール地震災害	ネパール連邦民主共和国 カトマンズ市	死者 8,896人 (うち邦人1人) 負傷者 22,302人 (うち邦人1人)	国際消防救助隊員17人（東京消防庁6人、さいたま市消防局3人、浜松市消防局3人、川越地区消防局1人、秋田市消防本部1人、高崎市等広域消防局1人、富山市消防局1人、消防庁1人） 建物倒壊現場での捜索救助活動
20	平29.9.21～9.28 (8日間)	メキシコ地震災害	メキシコ合衆国 メキシコシティ	死者 369人 負傷者 約8,800人	国際消防救助隊員17人（東京消防庁6人、仙台市消防局3人、京都市消防局3人、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部1人、豊中市消防局1人、和歌山市消防局1人、高知市消防局1人、消防庁1人） 建物倒壊現場での捜索救助活動
21	平30.2.9～2.11 (3日間)	台湾東部地震災害	台湾 花蓮県	死者 17人 負傷者 285人	国際消防救助隊員2人（東京消防庁2人） 捜索資機材の貸与及び資機材取扱要領の指導を実施
22	令5.2.6～2.15 (10日間)	トルコ地震災害	トルコ共和国南東部	死者 50,000人以上 負傷者 100,000人以上	国際消防救助隊員17人（東京消防庁6人、福岡市消防局3人、広島市消防局3人、茨城西南広域消防本部1人、上越地域消防局1人、徳島市消防局1人、宮崎市消防局1人、消防庁1人） 建物倒壊現場での捜索救助活動

※1及び2については、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」制定前であり、JICAの短期専門家として派遣されている。

※総務省消防庁に掲載されている最新の情報です。

○通信



指令管制業務の概要

佐賀広域消防局の指令管制業務は、災害通報の受付から情報伝達、収集まで、迅速な対応が求められる消防活動の中核的役割を果たしています。令和３年４月、新庁舎建設とともに「高機能消防指令センター」の運用が開始され、課名が「通信指令課」から「情報指令課」に改称されました。これにより、災害点の迅速な把握、出動部隊の選択決定、支援情報の提供、現場からの画像送信など、より効果的な運用が可能となりました。

近年の気象状況変化により多発する自然災害に備え、各指令台に輻輳モードを搭載し、最大１４席で受付業務が可能となり、大規模災害時にも対応できる体制が整いました。

また、署所との連携強化を目的に情報共有システムを導入し災害事案や車両運用状況、現場映像、防災ヘリ映像など、多くの情報を共有し、効果的な災害活動を実施しています。

万が一の備えとして局庁舎が被災した場合には、可搬型指令システムを活用し、管内消防署で最低限の指令業務を継続します。

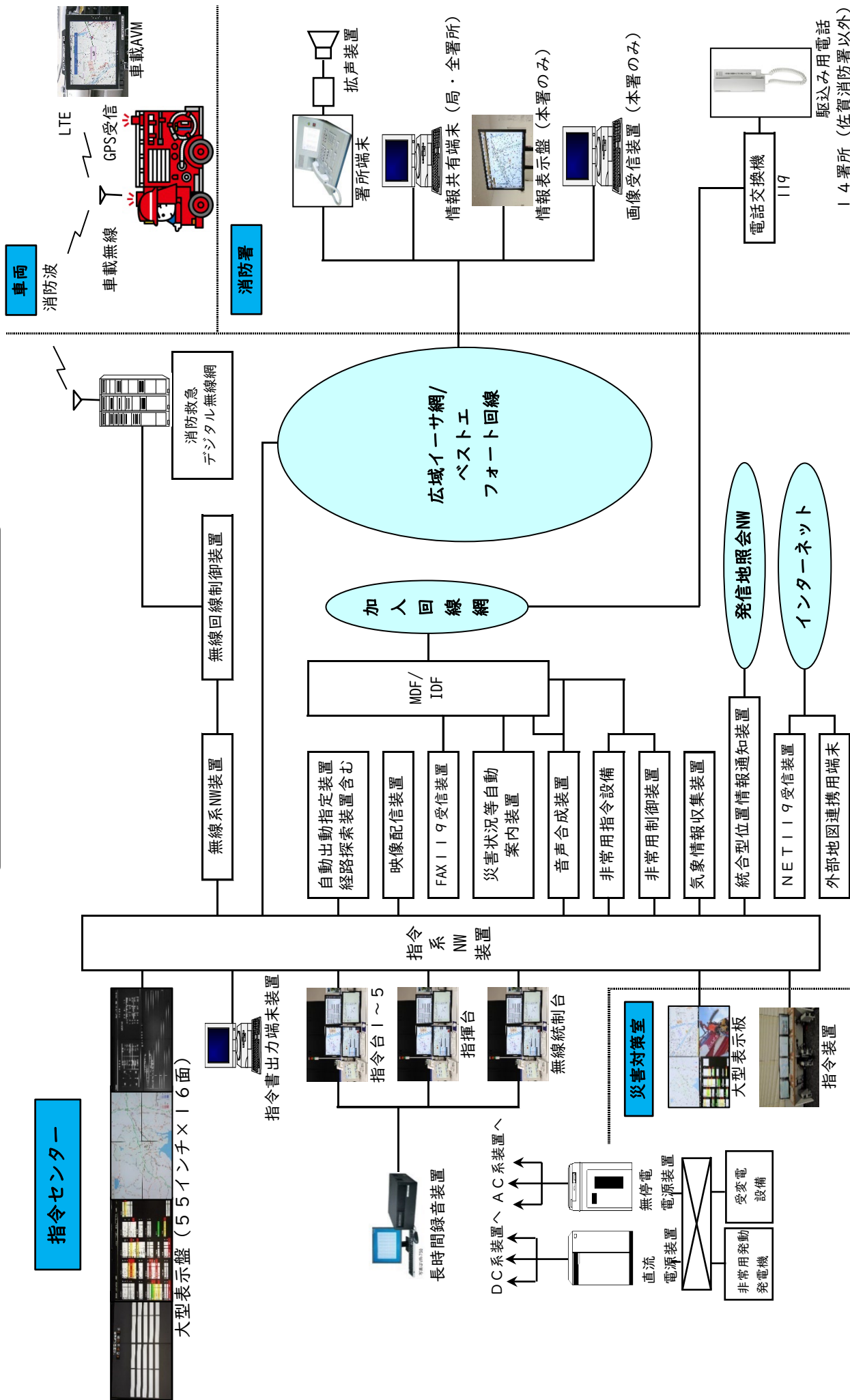
さらに、聴覚や発話に障がいをお持ちの方を対象としたNET１１９通報システムを導入しました。システム内容は、音声による１１９番通報が困難な方が、スマートフォンや携帯電話からチャット形式で「火災」「救急」「災害」などを選び通報するシステムとなります。

このような施設面における充実とともに、１１９番通報の中で最多を占める救急要請に対し、応急処置等の口頭指導を実施することで、重度傷病者の救命効果の向上を図っています。

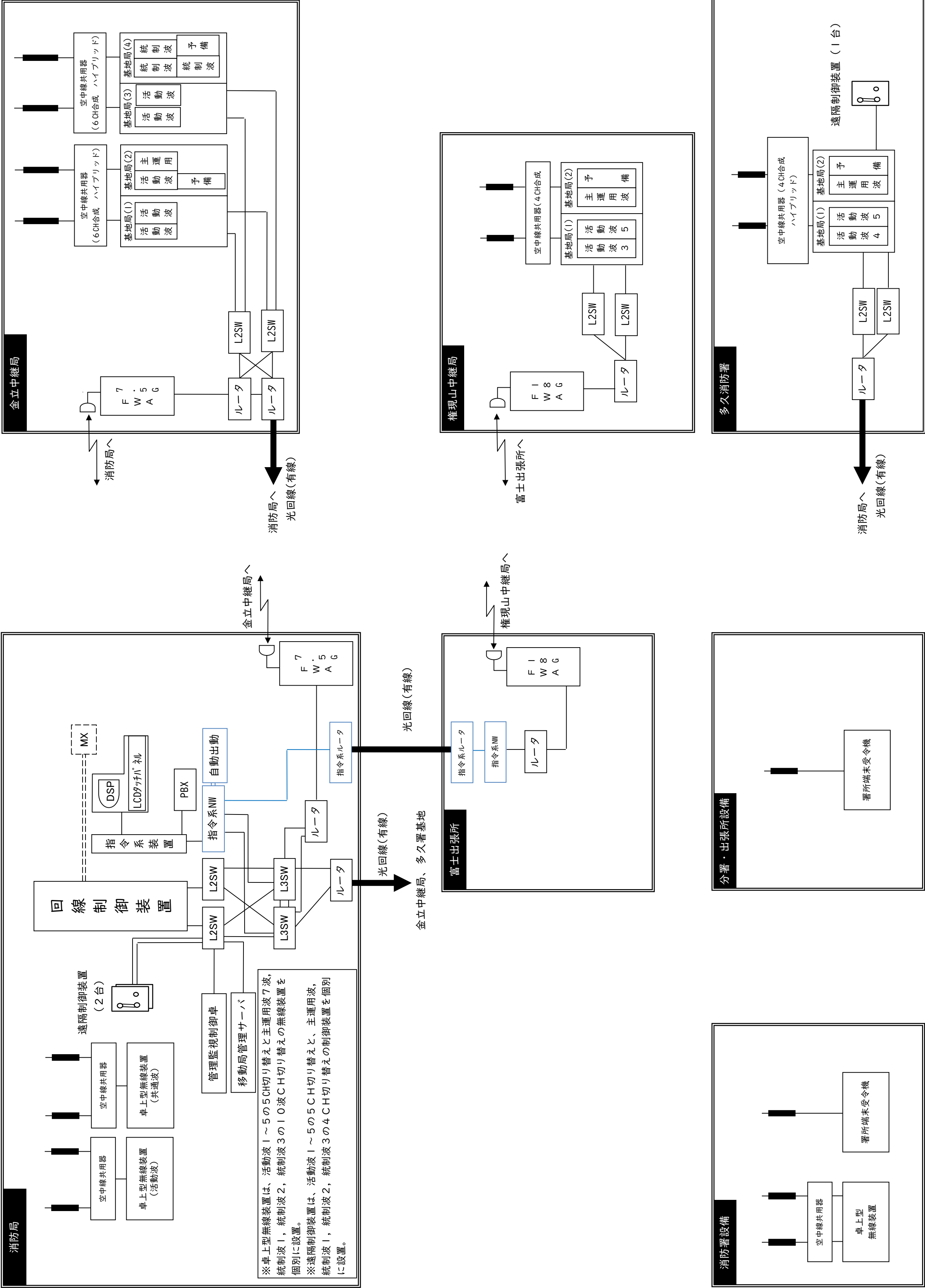
助けを求めている住民に一番初めにコンタクトをとり、的確な対応と迅速な指示により、消防活動の初動の要を担い地域住民の安心、安全に努めています。



指令管制システムの構成図



デジタル無線設備システム系統図



無線局配置

[基地局・固定局]

令和7年4月1日現在

配 置	局種別	出力	識別信号	数 量
金立山	基地	10w	きんりゅうしょうぼう	1
	固定（FWA）	5mw		1
権現山	基地	10w	ごんげんしょうぼう	1
	固定（FWA）	251mw		1
多久	基地	10w	たくしょうぼう	1
佐賀	固定（FWA）	5mw	さがしょうぼう	1
富士	固定（FWA）	251mw	ふじしょうぼう	1

[移動局]

令和7年4月1日現在

配 置	車両・携帯の別	出力	主な識別信号	数 量
消防局	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	3
	卓上型固定移動局	5w	さしょうしれい	2
	車載型移動局	5w	さしょうほんぶ	6
	携帯型移動局	1w・2w・5w	さしょうほんぶ	6
	署活系	1w	さがしれい・さがほんぶ	16
佐賀消防署	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	1
	車載型移動局（消防車・緊急車）	5w	さしょうしき・さしょうさが	17
	車載型移動局（救急車）	5w	さしょうきゅうきゅう	5
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうさが	16
	署活系	1w	さが・にし・ひがし	30
多久消防署	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	1
	車載型移動局（消防車・緊急車）	5w	さしょうたく	8
	車載型移動局（救急車）	5w	さしょうきゅうきゅう	2
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうたく	6
	署活系	1w	たく	11
南部消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうなんぶ	1
	車載型移動局（消防車・緊急車）	5w	さしょうなんぶ	8
	車載型移動局（救急車）	5w	さしょうきゅうきゅう	2
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうなんぶ	8
	署活系	1w	なんぶ・くぼた	13
北部消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうほくぶ	1
	車載型移動局（消防車・緊急車）	5w	さしょうほくぶ	9
	車載型移動局（救急車）	5w	さしょうきゅうきゅう	3
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうほくぶ	7
	署活系	1w	ほくぶ・ふじ	13
小城消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうおぎ	1
	車載型移動局（消防車・緊急車）	5w	さしょうおぎ	9
	車載型移動局（救急車）	5w	さしょうきゅうきゅう	3
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうおぎ	9
	署活系	1w	おぎ・おぎきた	16
神埼消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうかんざき	1
	車載型移動局（消防車・緊急車）	5w	さしょうかんざき	9
	車載型移動局（救急車）	5w	さしょうきゅうきゅう	4
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうかんざき	10
	署活系	1w	かんざき・よしのがり・さんせ	18

○ 統計



火 災 の 種 別

火 災 種 別	摘 要
建 物 火 災	建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
林 野 火 災	森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
車 両 火 災	自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
船 舶 火 災	船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
航 空 機 火 災	航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
そ の 他 の 火 災	上記火災以外の火災をいう。

令和 6 年中の火災概要

佐賀広域消防局管内における令和6年中の火災発生件数は90件で、前年より5件減少し、2年連続で100件を下回った。

火災種別ごとにみると、建物火災が46件(前年比;-4)、林野火災4件(前年比;-1)、車両火災11件(前年比;+3)、船舶火災0件(前年比;±0)、航空機火災0件(前年比;±0)、その他の火災29件(前年比;-3)となった。

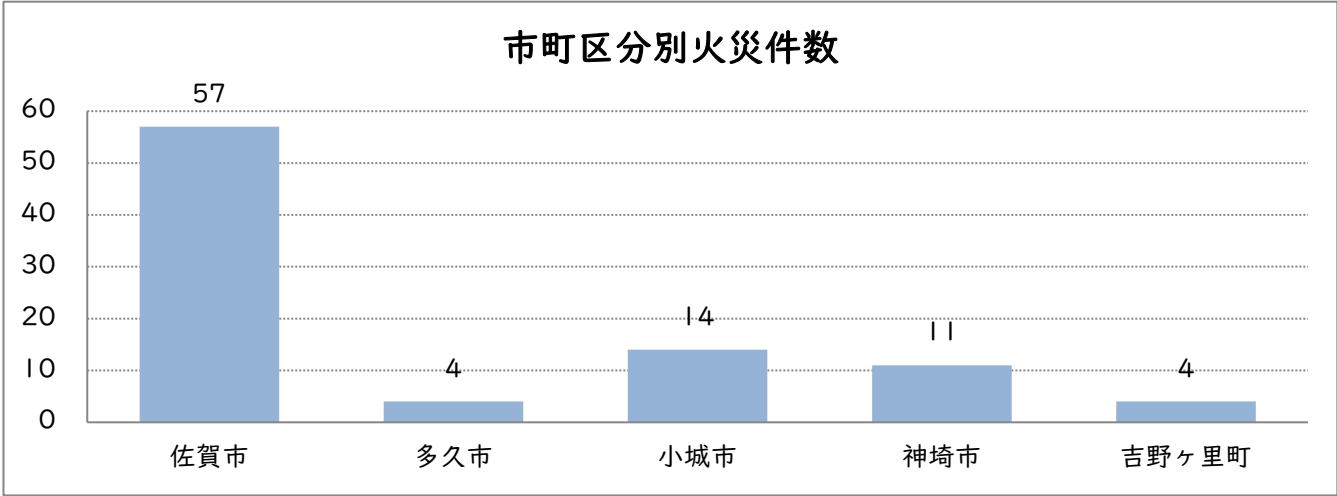
出火原因の第1位は「火入れ」で14件(15.56%)、次に「電灯・電話配線」「こんろ」が7件(7.78%)、次いで「たき火」が5件(5.56%)、「電気機器」「たばこ」が4件(4.44%)、「ストーブ」「放火の疑い」がそれぞれ3件(3.33%)となった。

火災による死者は4名(前年比;±0)、負傷者は16名(前年比;+4)となった。

火災発生状況

令和6年中

市 町			佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	計
区 分								
火災 件 数	火災 種 別	建 物	30	1	7	6	2	46
		林 野	3		1			4
		車 両	5		2	3	1	11
		船 舶						0
		航 空 機						0
		そ の 他	19	3	4	2	1	29
		爆 発						0
	計		57	4	14	11	4	90
焼 損 棟 数	火 元	全 焼	6		2	2	1	11
		半 焼			1	1		2
		部 分 焼	8		1	1		10
		ぼ や	16	1	3	2	1	23
	焼 類	全 焼	7		2	2		11
		半 焼	2					2
		部 分 焼	5		1	2		8
		ぼ や	5		4	1		10
	計		49	1	14	11	2	77
罹 災 世 帯	全 損		8		3	2		13
	半 損		3			1		4
	小 損		13	1	5	4		23
	計		24	1	8	7	0	40
罹 災 人 員	人 員		62	2	19	18		101
	死 者		2		2			4
	負 傷 者		12		3	1		16



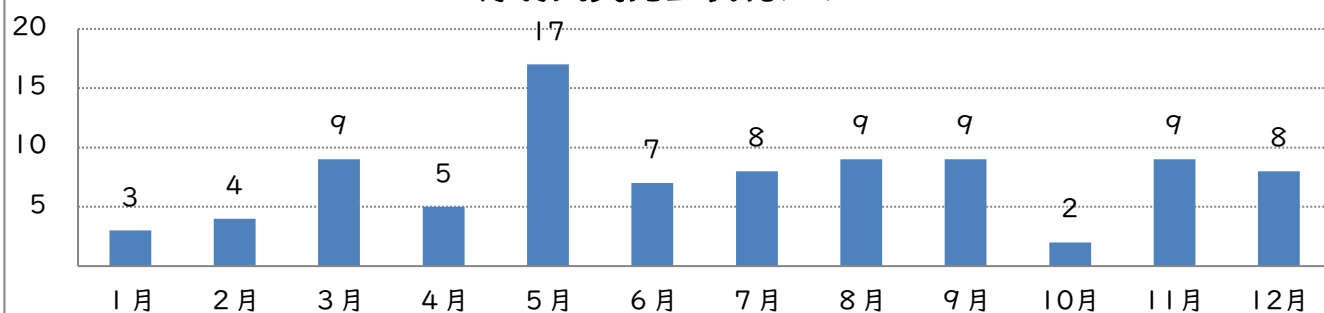
月別用途別火災発生状況

令和6年中

月 用途		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物	住宅	2	2	3	1	1	2	3	1	1	1	3	1	21
	併用住宅													
	共同住宅					1	1					1		3
	劇場													
	公会堂													
	キャバレー													
	遊技場													
	性風俗													
	カラオケボックス													
	料理店													
	飲食店							1						1
	物品販売業			1										1
	旅館・ホテル	1						1						2
	病院													
	グループホーム													
	社会福祉施設													
	幼稚園													
	学校													
	図書館													
	特殊浴場													
	公衆浴場													
	停車場													
	神社・寺院													
	工場・作業場									1		1		2
	スタジオ													
	駐車場													
	航空機・格納庫													
	倉庫			1									1	2
	事務所		1		2				1				1	5
	複合用途(特定)			1		1							1	3
	複合用途(非特定)			1										1
	地下街													
	準地下街													
	文化財													
	その他					2			3					5
小計		3	3	7	3	5	3	5	5	2	1	5	4	46
林野			1	1	1				1					4
車両(自動車)						4	1		1	1		1	3	11
船舶														
航空機														
その他				1	1	8	3	3	2	6	1	3	1	29
小計			1	2	2	12	4	3	4	7	1	4	4	44
計		3	4	9	5	17	7	8	9	9	2	9	8	90

件数

月別火災発生状況グラフ



月別原因別火災発生状況

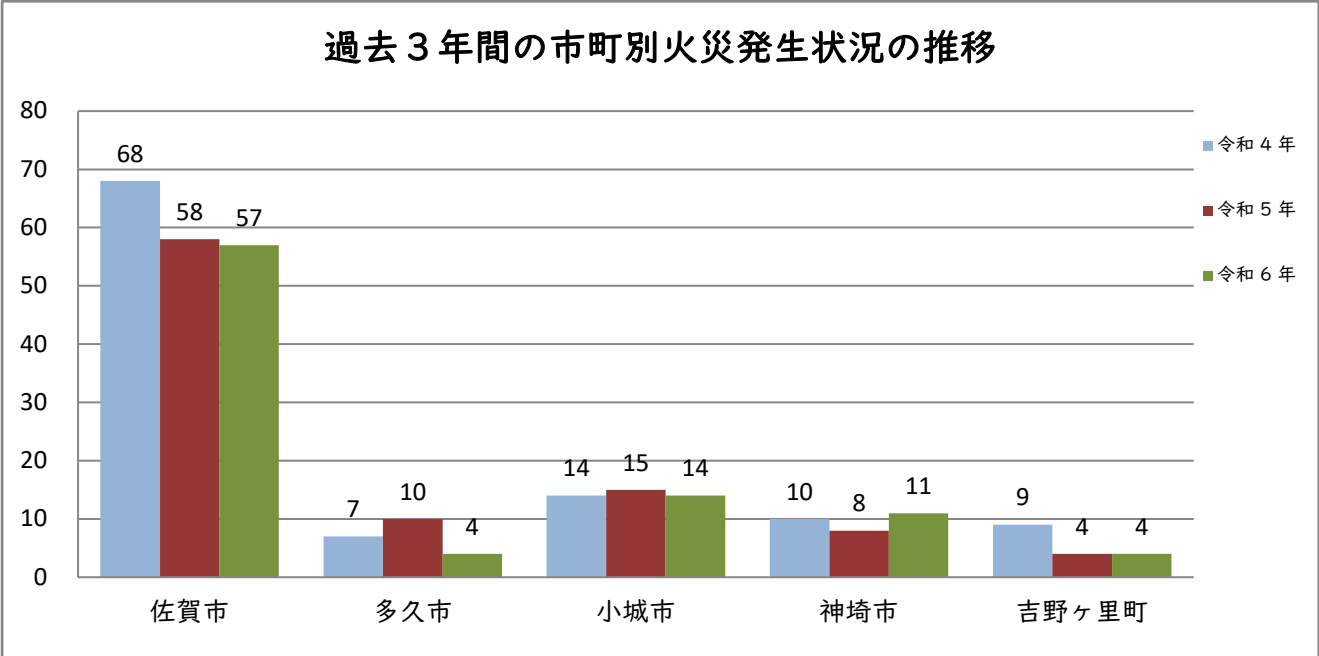
令和6年中

原因 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
たばこ					1	1	1		1				4
こんろ			3	2		1						1	7
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ						1					1	1	3
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管					1								1
電気機器	1	1						1				1	4
電気装置								1					1
電灯・電話配線			1		4		1	1					7
内燃機関													
配線器具							1						1
火遊び													
マッチ・ライター									1				1
たき火		1							1	1	2		5
溶接機・切断機													
灯													
衝突の火花													
取													
灰													
火入れ			1	1	4	2	1	2	2		1		14
放													
放火の疑い	1						2						3
その他		1	3	1	6	2	1	2	3		3	3	25
不明	1	1	1	1	1		1	2	1	1	2	2	14
計	3	4	9	5	17	7	8	9	9	2	9	8	90

※「その他」には、雷、自然発火及び輻射熱によるものが含まれる。

過去3年間の火災発生状況

年・種別 \ 市町			佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	計
令和4年	火災種別	建物	32	4	9	2	3	50
		林野	1		1	1		3
		車両	4	2	1	2	2	11
		船舶	1					1
		航空機						
		その他	30	1	3	5	4	43
		爆発						
計	火災発生件数		68	7	14	10	9	108
	死者の数			3				3
令和5年	火災種別	建物	32	3	9	4	2	50
		林野	4	1				5
		車両	4	1	1	2		8
		船舶						
		航空機						
		その他	18	5	5	2	2	32
		爆発						
計	火災発生件数		58	10	15	8	4	95
	死者の数		3		1			4
令和6年	火災種別	建物	30	1	7	6	2	46
		林野	3		1			4
		車両	5		2	3	1	11
		船舶						
		航空機						
		その他	19	3	4	2	1	29
		爆発						
計	火災発生件数		57	4	14	11	4	90
	死者の数		2		2			4



過去3年の火災原因

年	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
令和 4 年	火入れ	15	たき火	9	こんろ	7	排気管	6	電気機器	5
令和 5 年	電灯・ 電話配線	11	たばこ	9	こんろ	8	火入れ	7	排気管	3
									電気機器	
									電気装置	
									マッチ・ ライター	
令和 6 年	火入れ	14	電灯・ 電話配線	7	たき火	5	電気機器	4	ストーブ	3
			こんろ				たばこ		放火の疑い	

※「たき火」、「火入れ」について

屋外における焼却行為のうち、ゴミや枯草などを一箇所に集めて焼却することを「たき火」、
地面に生えたままの下草などを焼却すること（野焼き）を「火入れ」として区分している。

救急事故の種別

事 故 種 別	摘 要
火 災 事 故	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
自 然 災 害 事 故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
水 難 事 故	水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
交 通 事 故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
労 働 災 害 事 故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
運 動 競 技 事 故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者。審判員及び関係者等の事故（ただし観覧中のものが直接に運動競技用具等によって負傷した場合は含み、競技場の混乱による事故等は含まない）をいう。
一 般 負 傷 事 故	他に分類されない不慮の事故をいう。
加 害 事 故	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自 損 行 為 事 故	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急 病 事 故	疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
そ の 他	転院搬送、医師、看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のものをいう。

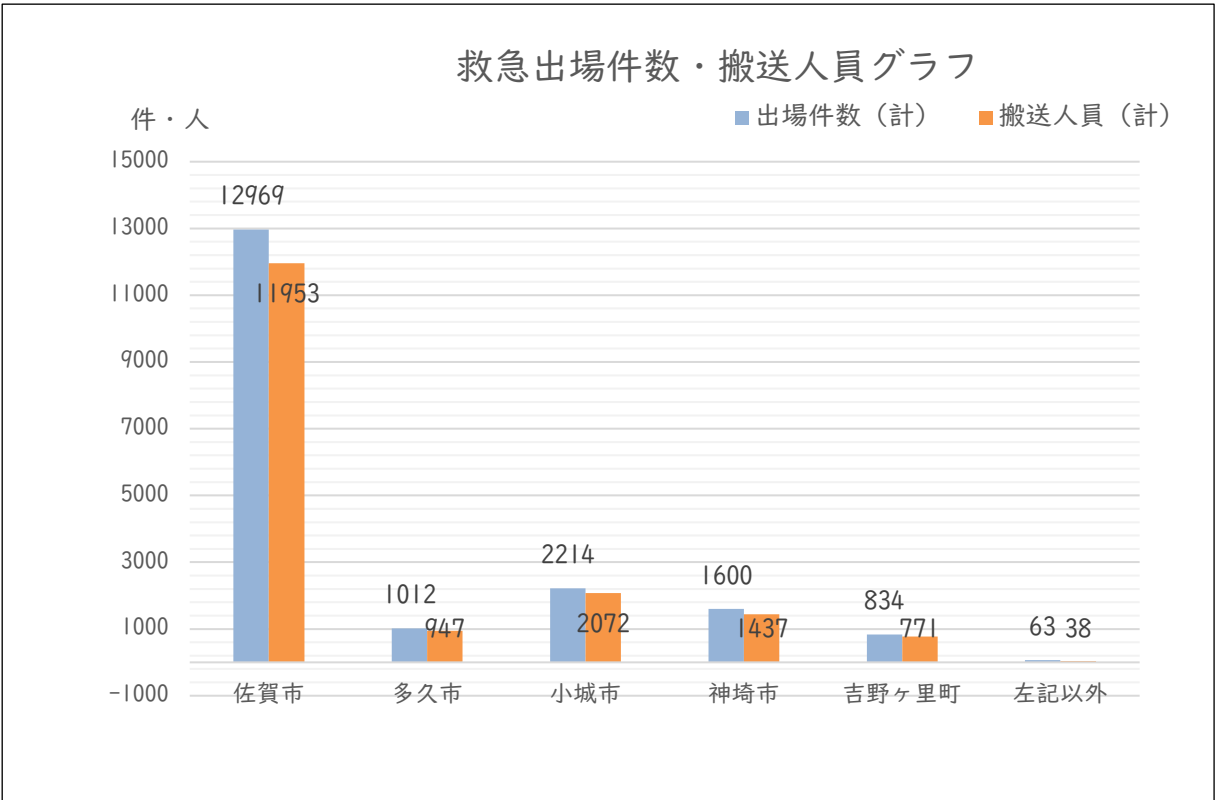
令和6年中の救急出動概要

令和6年中における救急出場件数は、18,692件（前年18,921件）、搬送人員は、17,218人（前年17,324人）で、前年に比べ出場件数が229件減、搬送人員は106人減となっています。

事故種別でみると、「急病」が11,207件（60%）、次いで「その他（転院搬送）」2,423件（13%）、「一般負傷」2,327件（12.4%）、「交通事故」1,350件（7.2%）となっています。

事故種別救急出場件数・搬送人員

市 町		令和6年中					
種 別		佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外
火 災		60	5	19	20	9	4
自 然 災 害		8	1	2	1	1	
水 難		11		1	2		
交 通		908	41	139	146	74	42
労 働 災 害		86	6	34	24	7	
運 動 競 技		149	10	30	8	5	
一 般 負 傷		1,630	150	259	186	101	1
加 害		34	1	6	1	2	
自 損 行 為		89	5	20	11	6	
急 病		7,712	663	1,314	985	519	14
そ の 他	転 院	1,770	96	304	160	93	
	医 師						
	資 器 材						
	そ の 他	512	34	86	56	17	2
出場件数（計）		12,969	1,012	2,214	1,600	834	63
傷 病 程 度	死	184	18	33	25	12	1
	重	1,217	90	233	162	99	2
	中	6,107	434	1,031	768	360	14
	軽	4,443	405	775	482	300	21
	その他	2					
搬送人員（計）		11,953	947	2,072	1,437	771	38
不 搬 送		1,097	68	152	174	71	31

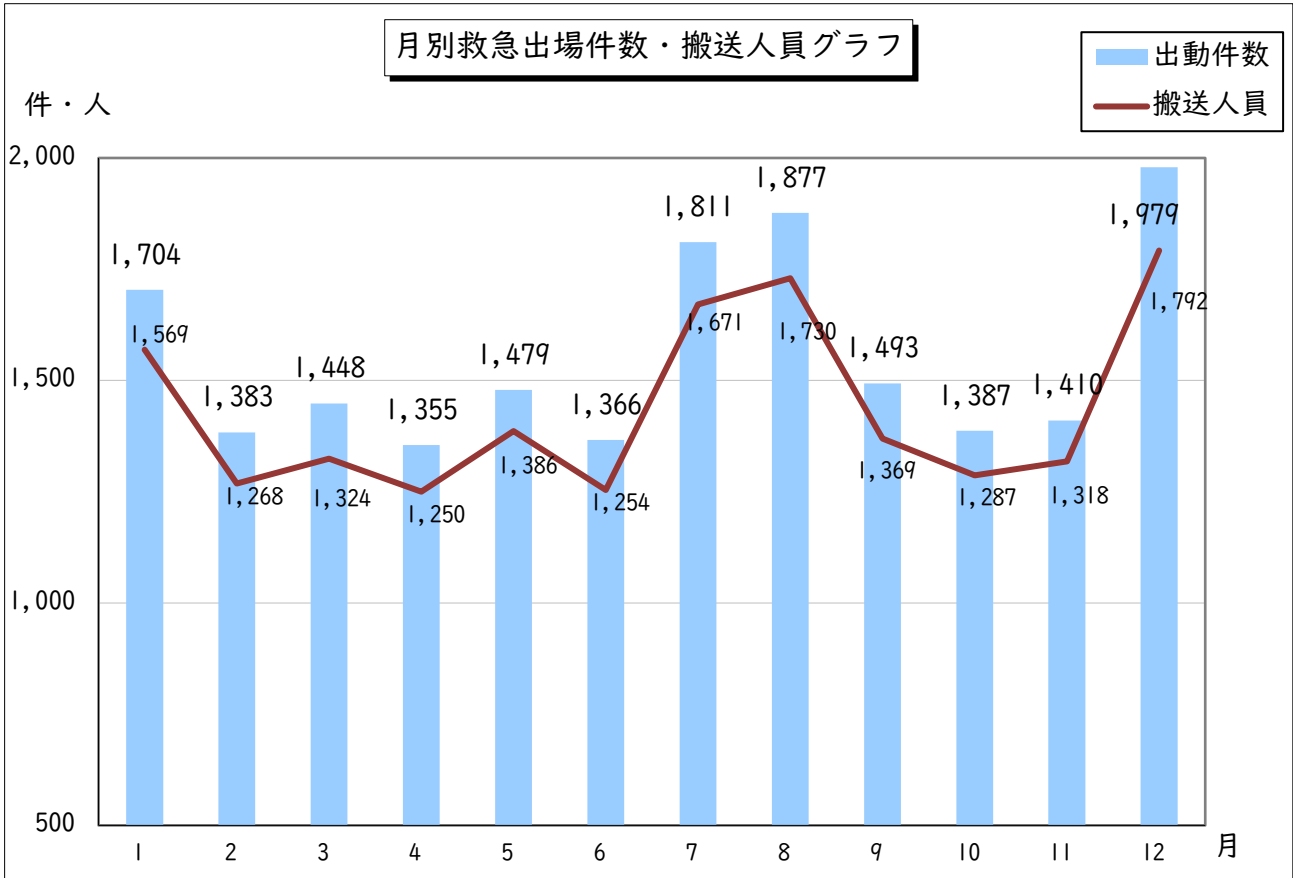


月別救急出場件数・搬送人員

令和6年中

市町 月	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
1月	1,174	103	202	134	90	1	1,704
	1,071	98	192	124	83	1	1,569
2月	952	54	167	147	61	2	1,383
	871	49	154	136	58		1,268
3月	1,002	69	181	130	64	2	1,448
	929	65	164	110	54	2	1,324
4月	927	58	165	127	73	5	1,355
	850	52	159	115	70	4	1,250
5月	1,052	84	157	105	75	6	1,479
	993	78	148	92	73	2	1,386
6月	937	76	177	116	58	2	1,366
	858	74	168	97	55	2	1,254
7月	1,261	101	225	158	64	2	1,811
	1,172	93	208	143	54	1	1,671
8月	1,302	121	211	151	84	8	1,877
	1,186	111	200	142	82	9	1,730
9月	1,026	91	184	118	62	12	1,493
	936	89	171	105	62	6	1,369
10月	964	77	173	115	50	8	1,387
	898	69	166	104	48	2	1,287
11月	997	84	149	104	68	8	1,410
	941	81	137	91	63	5	1,318
12月	1,375	94	223	195	85	7	1,979
	1,248	88	205	178	69	4	1,792
計	12,969	1,012	2,214	1,600	834	63	18,692
	11,953	947	2,072	1,437	771	38	17,218

※上段は出場件数、下段は搬送人員を示す。

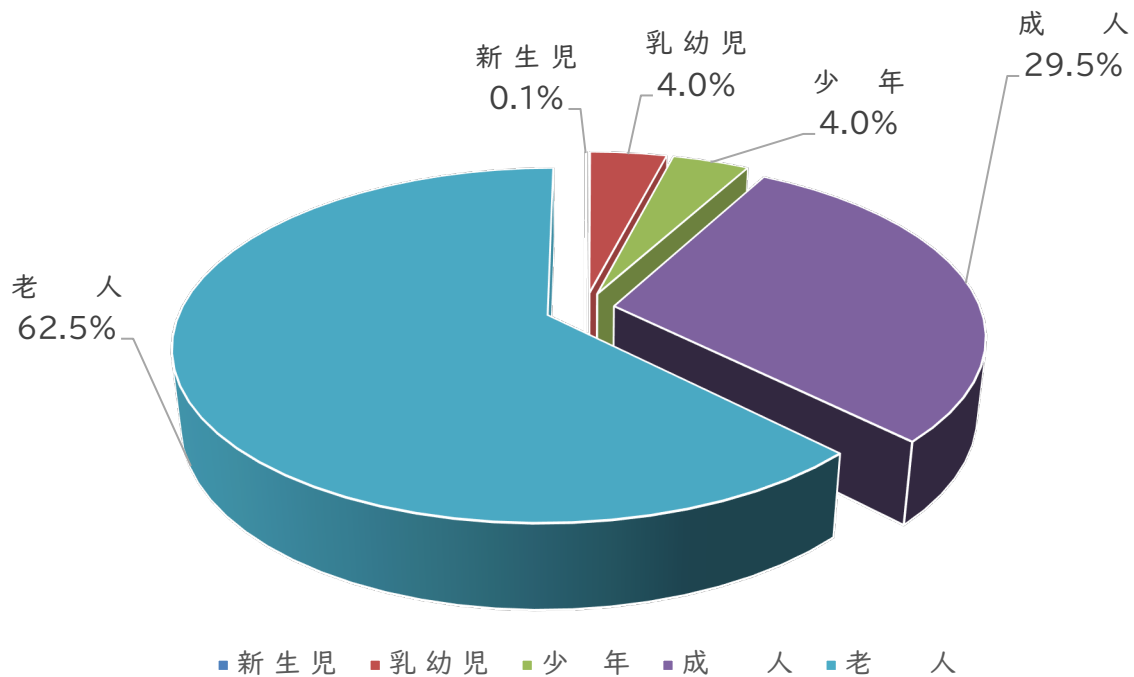


年齢別搬送人員

令和6年中

市 町 年 齢	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
新生児 生後 28日以内	11	1	1				13
乳幼児 29日以上 7歳未満	471	21	97	47	43	2	681
少年 7歳以上 18歳未満	493	37	84	41	28	1	684
成人 18歳以上 65歳未満	3,593	232	576	386	257	30	5,074
老人 (65歳以上)	7,385	656	1,314	963	443	5	10,766
計	11,953	947	2,072	1,437	771	38	17,218

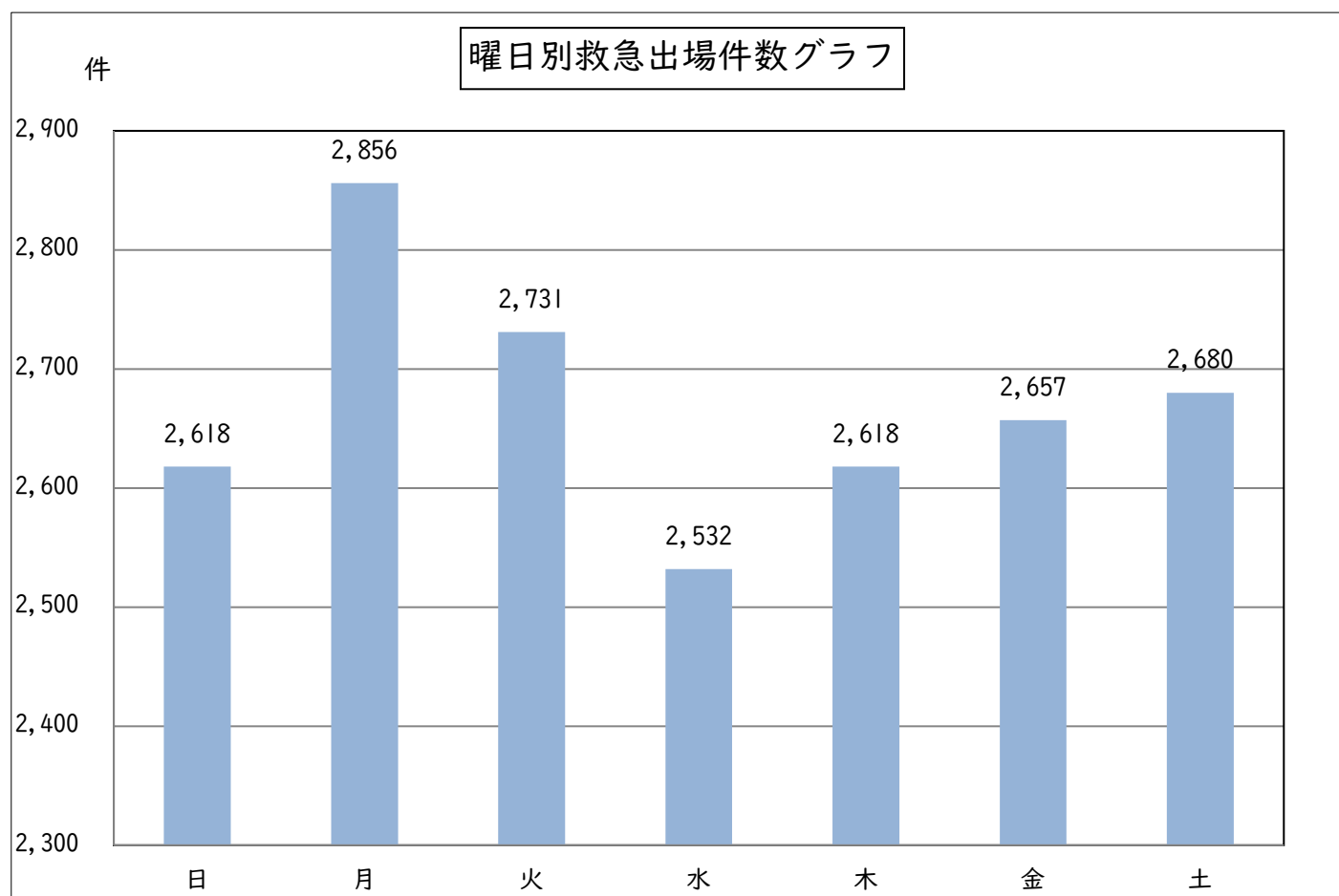
年齢別搬送人員とその割合グラフ



曜日別救急出場件数

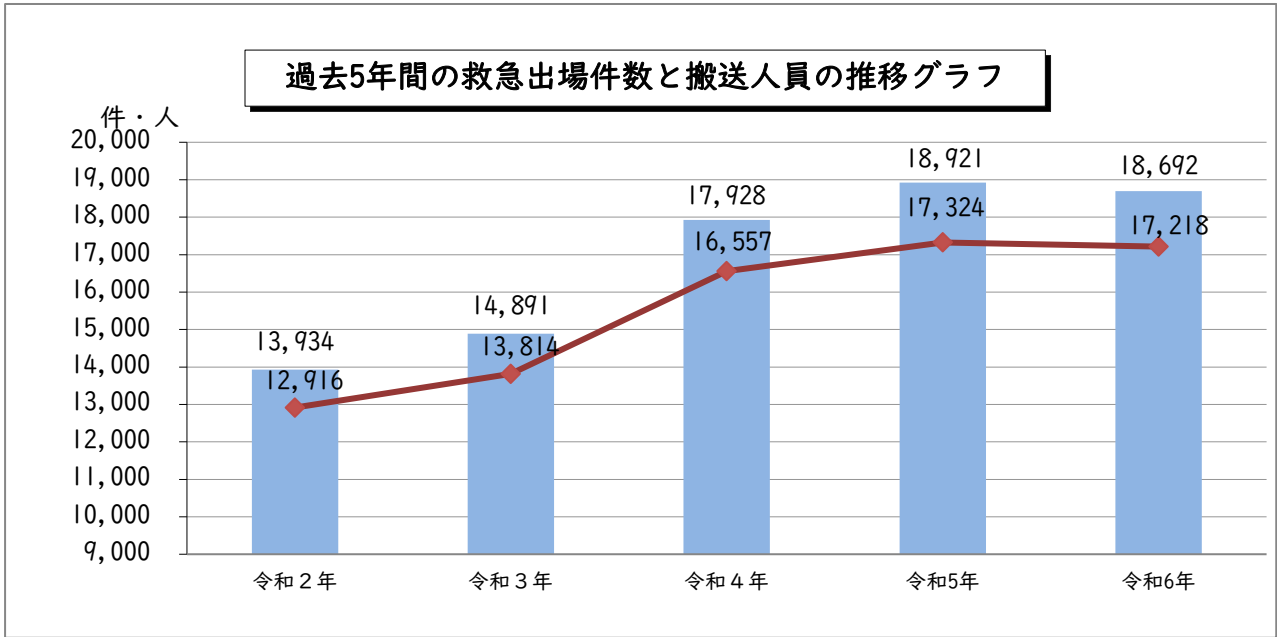
令和6年中

市町 曜日	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
日	1,815	173	278	217	129	6	2,618
月	1,924	166	377	221	154	14	2,856
火	1,931	148	318	217	109	8	2,731
水	1,739	130	327	238	92	6	2,532
木	1,822	132	322	210	123	9	2,618
金	1,848	133	301	246	120	9	2,657
土	1,890	130	291	251	107	11	2,680
計	12,969	1,012	2,214	1,600	834	63	18,692



過去3年間の救急出場件数

市 町		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	計
年・種別								
令和4年	火災	77	11	25	12	11		136
	自然災害	2	1					3
	水難	11						11
	交通	785	50	120	128	72	8	1,163
	労働災害	69	7	17	14	10		117
	運動競技	145	9	14	12	3		183
	一般負傷	1,525	169	274	224	67		2,259
	加害	31	1	2	4			38
	自損行為	80	10	14	18	14		136
	急病	7,330	640	1,247	929	471	1	10,618
	その他	2,443	108	399	215	99		3,264
計	出場件数	12,498	1,006	2,112	1,556	747	9	17,928
	搬送人員	11,523	929	1,935	1,470	691	9	16,557
令和5年	火災	62	12	22	12	5	1	114
	自然災害	14		1				15
	水難	5	2	2				9
	交通	907	74	140	120	50	5	1,296
	労働災害	76	12	18	30	8		144
	運動競技	131	6	15	9	4		165
	一般負傷	1,532	159	283	195	63		2,232
	加害	40	2	3	2	3		50
	自損行為	88	5	15	15	5		128
	急病	7,803	691	1,468	949	483	5	11,399
	その他	2,541	154	359	190	125		3,369
計	出場件数	13,199	1,117	2,326	1,522	746	11	18,921
	搬送人員	12,030	1,022	2,170	1,398	697	7	17,324
令和6年	火災	60	5	19	20	9	4	117
	自然災害	8	1	2	1	1		13
	水難	11		1	2			14
	交通	908	41	139	146	74	42	1,350
	労働災害	86	6	34	24	7		157
	運動競技	149	10	30	8	5		202
	一般負傷	1,630	150	259	186	101	1	2,327
	加害	34	1	6	1	2		44
	自損行為	89	5	20	11	6		131
	急病	7,712	663	1,314	985	519	14	11,207
	その他	2,282	130	390	216	110	2	3,130
計	出場件数	12,969	1,012	2,214	1,600	834	63	18,692
	搬送人員	11,953	947	2,072	1,437	771	38	17,218



救助事故の種別

事 故 種 別	摘 要
建 物 火 災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
建 物 火 災 以 外	林野、車両、航空機その他の火災において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
交 通 事 故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
水 難 事 故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
風水害等自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
機 械 に よ る 事 故	エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
建物等による事故	建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
ガス及び酸欠事故	一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
破 裂 事 故	火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。ただし、瞬間的な燃焼現象である混合ガス爆発、ガスの分解燃焼、粉塵爆発などの化学的变化による爆発は、火災として扱う。
そ の 他 の 事 故	前に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。（出動したが誤報、いたずらであった場合も該当する。）

令和 6 年中の救助出動概要

○令和 6 年中の救助出動件数： 3 8 2 件（前年比：+ 1 4 件）

○事故種別ごとの内訳

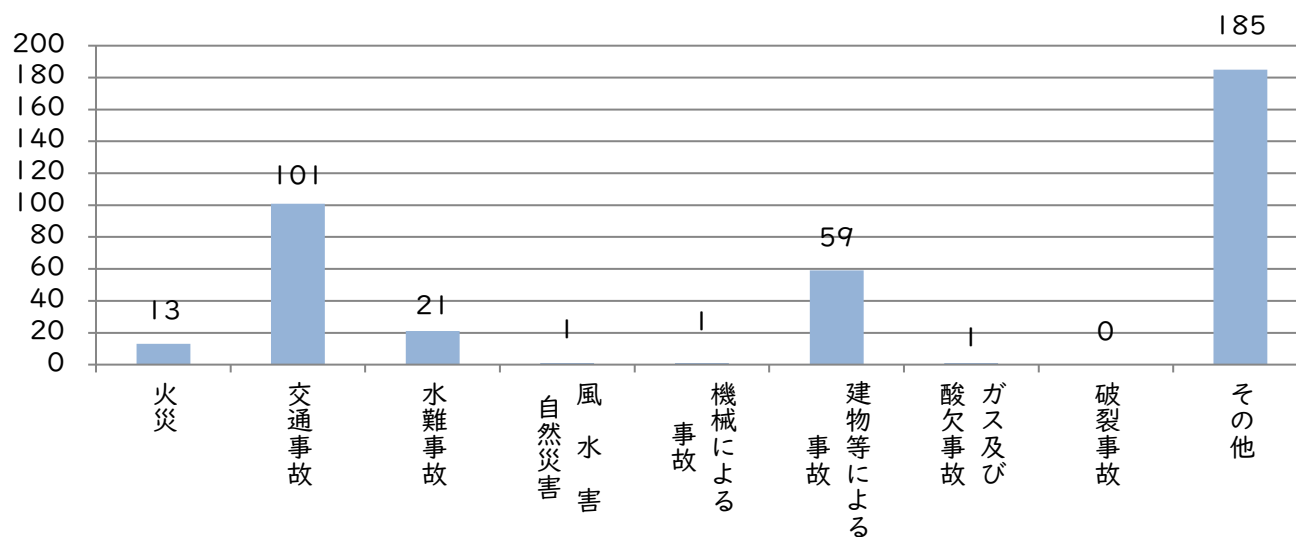
- ① 「その他の事故」： 1 8 5 件（4 8 %）
- ② 「交通事故」： 1 0 1 件（2 6 %）
- ③ 「建物等による事故」： 5 9 件（1 5 %）
- ④ 「水難事故」： 2 1 件（5 %）
- ⑤ 「建物火災」： 1 3 件（3 %）

市町別事故種別救助出動件数・救助人員

令和6年中

市 町		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	合計
事故種別	出動件数	8		3	2			13
	救助人員	5		2				7
火 災	出動件数	44	4	5	14	11	23	101
	救助人員	22	4	1	10	9	3	49
交 通 事 故	出動件数	17		1	3			21
	救助人員	6		1	3			10
水 難 事 故	出動件数	1						1
	救助人員							0
風 水 害 自 然 災 害	出動件数			1				1
	救助人員			1				1
機 械 に よ る 事 故	出動件数	45	2	6	6			59
	救助人員	30	1	2	4			37
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数			1				1
	救助人員							0
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
破 裂 事 故	出動件数	107	17	28	17	7	9	185
	救助人員	67	9	14	12	3	1	106
そ の 他	出動件数	222	23	45	42	18	32	382
	救助人員	130	14	21	29	12	4	210
合 計	出動件数							
	救助人員							

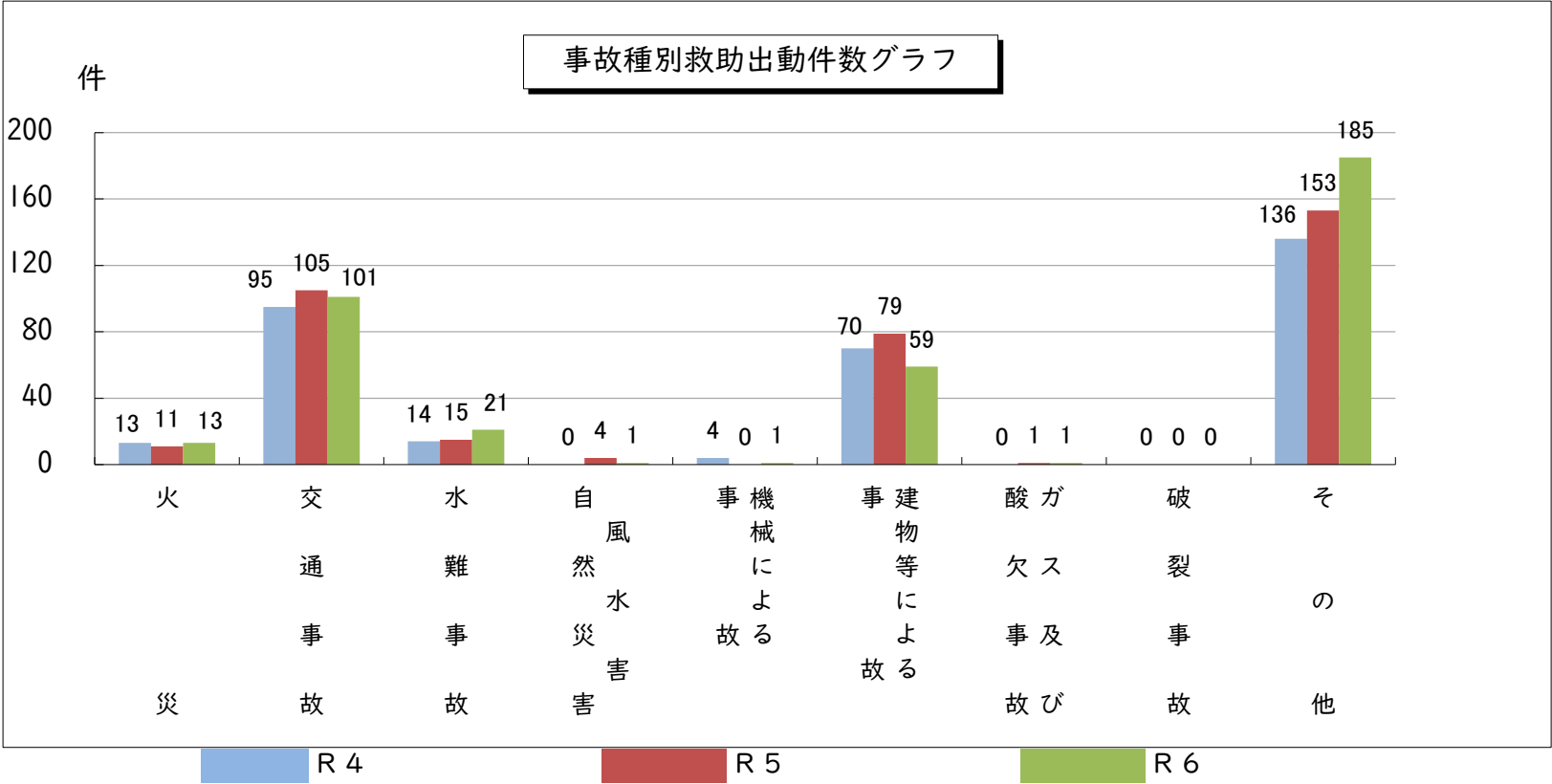
事故種別救助出場件数グラフ



過去3年間の事故種別救助出動件数

年		令和4年							令和5年							令和6年						
事故種別		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	合計
市 町	出動件数	10	1	1		1		13	5	1	2	2	1		11	8		3	2			13
	救助人員	2	1					3	3		1				4	5		2				7
火 災	出動件数	51	6	8	12	4	14	95	45	10	22	12	2	14	105	44	4	5	14	11	23	101
	救助人員	28	5	2	7	2	11	55	29	8	9	7	1	5	59	22	4	1	10	9	3	49
交 通 事 故	出動件数	14						14	10	1	2	1	1		15	17		1	3			21
	救助人員	10						10							0	6		1	3			10
水 難 事 故	出動件数							0	3				1		4	1						1
	救助人員							0							0							0
風 水 害 自 然 災 害	出動件数	2	1			1		4							0			1				1
	救助人員	2	1			1		4							0			1				1
機械による 事 故	出動件数	57	4	6	1	2		70	67		5	6	1		79	45	2	6	6			59
	救助人員	36	4	2	1	2		45	35		2	3	1		41	30	1	2	4			37
建物等による 事 故	出動件数							0						1	1			1				1
	救助人員							0						1	1							0
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数							0							0							0
	救助人員							0							0							0
破 裂 事 故	出動件数	82	14	10	19	8	3	136	99	11	18	15	5	5	153	107	17	28	17	7	9	185
	救助人員	43	5	6	14	3		71	46	10	12	10	4		82	67	9	14	12	3	1	106
そ の 他	出動件数	216	26	25	32	16	17	332	229	23	49	36	11	20	368	222	23	45	42	18	32	382
	救助人員	121	16	10	22	8	11	188	113	18	24	20	6	6	187	130	14	21	29	12	4	210
計																						

※ 上段は出動件数、下段は救助人員を示す。



警戒出動の種別

災 害 種 別	摘 要
油 漏 え い	交通事故等により、ガソリンなどの油類の危険物質が漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
ガ ス 漏 え い	都市ガス、プロパンガス、その他の引火性又は有毒性のガスが漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
火 災 警 報 器 等 発 報	火災等の発生により、火災警報器等が発報したことを覚知した場合の出動をいう。
救 急 活 動 支 援	救急車出動時の消防隊による活動支援のための出動をいう。
そ の 他	前に掲げるもののほか、次の出動をいう。 ・台風、大雨等の自然災害により人命に危険が予想される場合の出動 ・ドクターヘリ等の場外離発着時における危険排除のための出動 ・火災と紛らわしい発煙を覚知した場合の出動

令和6年中の警戒出動概要

- 令和6年中の警戒出動件数：2,980件（前年比：－63件）
○災害種別ごとの内訳
① 救急活動支援：2,463件（82.7%）
② 火災報知器等発報：236件（7.9%）
③ その他：225件（7.6%）
④ 油漏えい：51件（1.7%）

事故種別警戒出動状況

令和6年中

市町 事故種別	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
油 漏 え い	28	7	6	7	3		51
ガ ス 漏 え い	2		1		2		5
火 災 警 報 器 等 発 報	190	8	16	16	6		236
救 急 活 動 支 援	1,852	147	211	156	96	1	2,463
そ の 他	124	19	23	38	15	6	225
計	2,196	181	257	217	122	7	2,980

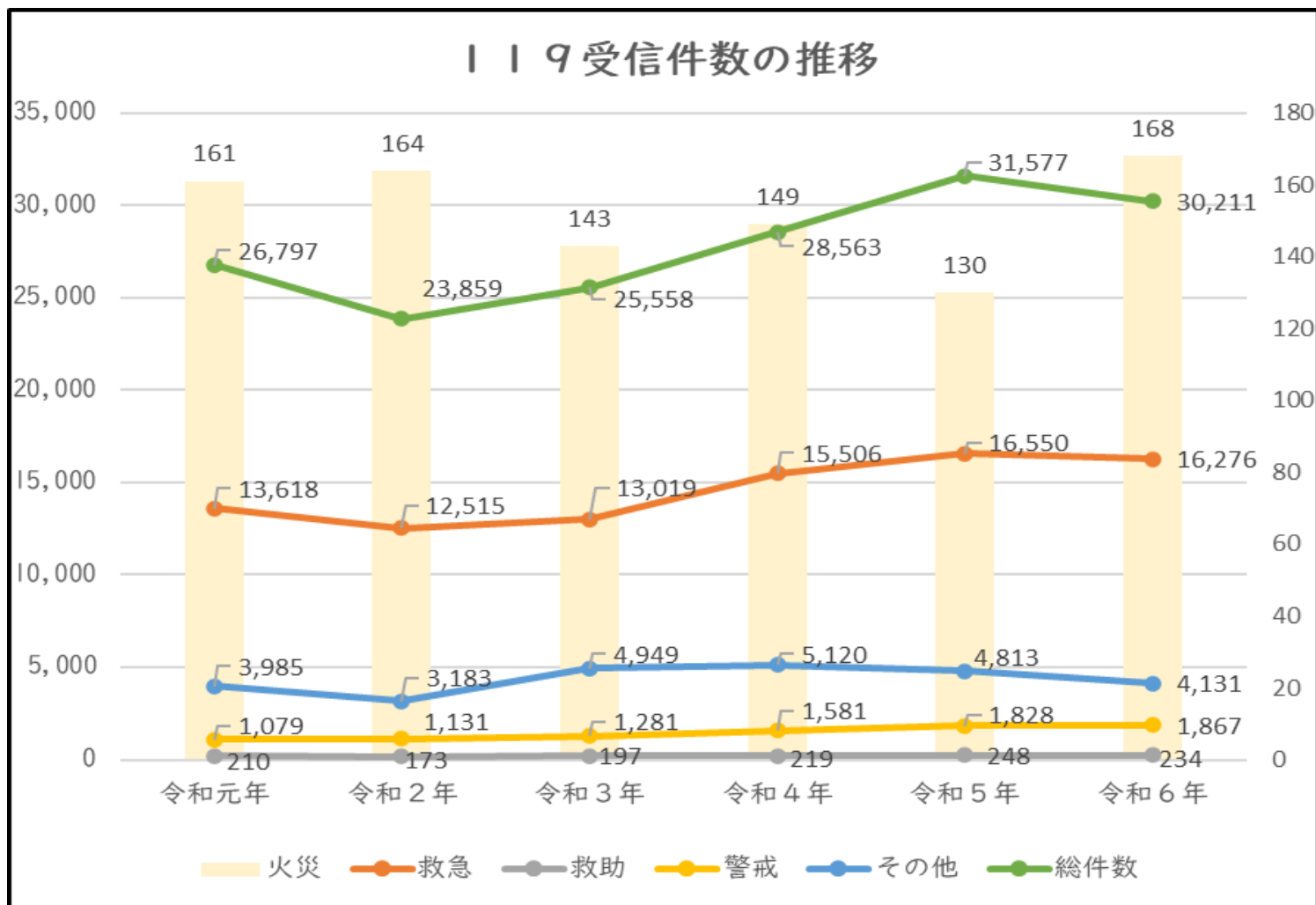
119番受信状況

令和6年中

月 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(回)	比率
火災	11	5	8	4	32	12	8	27	12	10	15	24	168	0.5%
救急	1,485	1,190	1,236	1,157	1,285	1,197	1,614	1,678	1,296	1,214	1,223	1,701	16,276	53.9%
救助	23	25	19	19	19	17	20	18	13	18	18	25	234	0.8%
警戒	187	135	155	121	140	131	168	159	153	142	159	217	1,867	6.2%
テスト・訓練	315	310	387	309	370	306	218	205	242	340	481	373	3,856	12.8%
間違い・悪戯	173	179	170	168	164	133	195	193	169	153	135	231	2,063	6.8%
各種 問合せ	139	87	114	92	115	102	205	190	123	130	129	190	1,616	5.3%
その他	293	279	352	381	322	341	370	332	362	397	334	368	4,131	13.7%
計(回)	2,626	2,210	2,441	2,251	2,447	2,239	2,798	2,802	2,370	2,404	2,494	3,129	30,211	100%

※「その他」には、重複通報や陳情などが含まれます。

※重複通報：例）火災など一つの災害で多数の人が119番通報をすること。



施設所在地・連絡先一覧

佐賀広域消防局 〒849-0919 (電話) 0952-30-0111 (代表)
 佐賀市兵庫北三丁目5番1号 (FAX) 0952-31-2119
 (E-mail) sagakoiki@chubu.saga.saga.jp
<https://www.chubu.saga.saga.jp/shobo.html>

総務課	(電話) 0952-33-6763
警防課	(電話) 0952-33-6761
予防課	(電話) 0952-33-6765
情報指令課	(電話) 0952-30-0111 (代表)

(火災問い合わせ) 0952-20-7119

(医療機関問い合わせ) 0952-31-8899

佐賀消防署	〒849-0919 佐賀市兵庫北三丁目5番1号	(電話) 0952-33-6771 (庶務課) (電話) 0952-33-6767 (消防課) (電話) 0952-33-6775 (救急課) (電話) 0952-33-6773 (予防指導課) (FAX) 0952-32-1838
西分署	〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸1357番地1	(電話) 0952-25-3320 (FAX) 0952-25-4727
東分署	〒840-0012 佐賀市北川副町大字光法1137番地	(電話) 0952-27-1339 (FAX) 0952-27-1379
多久消防署	〒846-0002 多久市北多久町大字小侍22番地1	(電話) 0952-75-2191 (FAX) 0952-75-2696
多久南西出張所	〒846-0031 多久市多久町1776番地30	(電話) 0952-97-7119 (FAX) 0952-97-8119
南部消防署	〒840-2213 佐賀市川副町大字鹿江1152番地1	(電話) 0952-45-6442 (FAX) 0952-45-4930
久保田出張所	〒849-0202 佐賀市久保田町大字久富450番地13	(電話) 0952-68-3248 (FAX) 0952-68-3246
北部消防署	〒840-0211 佐賀市大和町大字東山田2739番地	(電話) 0952-62-3442 (FAX) 0952-62-1926
富士出張所	〒840-0522 佐賀市富士町大字畑瀬68番地30	(電話) 0952-58-2811 (FAX) 0952-58-2812
小城消防署	〒849-0301 小城市牛津町乙柳894番地1	(電話) 0952-66-1541 (FAX) 0952-66-1542
北分署	〒845-0002 小城市小城町畑田2626番地12	(電話) 0952-73-9919 (FAX) 0952-73-9922
神埼消防署	〒842-0006 神崎市神埼町枝ヶ里184番地1	(電話) 0952-52-3291 (FAX) 0952-53-2174
三脊出張所	〒842-0302 佐賀市三瀬村藤原2938番地1	(電話) 0952-56-2009 (FAX) 0952-56-2185
吉野ヶ里出張所	〒842-0102 神埼郡吉野ヶ里町石動2792番地4	(電話) 0952-53-0541 (FAX) 0952-53-0542



令和7年版佐賀広域消防局消防年報
発行/令和7年7月
佐賀広域消防局 総務課 総務係

佐賀広域消防局ホームページ

<https://www.chubu.saga.saga.jp/shobo.html>

佐賀広域消防局Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100088723771017>

佐賀広域消防局YouTubeチャンネル

<http://www.youtube.com/@佐賀広域消防局>

佐賀広域消防局Instagram

https://www.instagram.com/sagakoiki.fd_119/

【ホームページ】



【Facebook】



【YouTube】



【Instagram】

